

おおたか小 1 年生（71件）

第2回通学区域審議会資料
令和3年12月17日(金)

No.	希望学区	通学区域について		その他		資料3
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え	
1	D	D案にすべきです。市野谷地区はこれから整備する区画が多く、AからC案だと新設小学校のほうも児童が溢れ返ることが誰から見ても明らかです。同じ番地内で学区が分かれることも地域のコミュニティ形成に影響が出るためD案以外を強く反対します。	御回答ありがとうございました。	新設小学校の場合、中学はおおたかの森中でしょうか？他の想定であるとなると、D案以外だと通学距離が遠い児童が多すぎると思います。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	
2		現在おおたかの森小学区で、円東寺付近に住んでおります。こちら辺の地域は強制的に新設小学校になる予定みたいですが兄弟はおおたかの森中学へ通います。親としては出来れば同じ併設小中学校へ通わせたいです。現在居住してる場所に3年、4年以上いる家庭は小学校区域を選ぶ権利があってもいいのではないのでしょうか？ここに住み始めた時はおおたかの森小学校学区内として越してきた人は多いと思います。兄弟関係、居住年数もう少し考え直して頂きたいです。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校へ入学することになります。兄弟がおおたかの森中学校に在籍しているという理由で弟妹がおおたかの森小学校へ通えるということは現在のところ考えておりません。小学校、中学校の各々で兄弟が別々にならないような対応はしております。	---		
3		許可区域には期限がありますか?令和9年度入学児童にも適用して頂きたい。	現在の案においては、許可区域に期限は設ける予定はありません。	許可区域でおおたかの森小学校を卒業した児童は、おおたかの森中学校に通学できるようにして頂きたい。今後中学校通学区域に変更があるならば早く発表して頂きたい。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	
4	D	D案に賛成です。	御回答ありがとうございました。	---		
5		---		---		
6	D	D案	御回答ありがとうございました。	---		
7	D	案Dが良いです。道一本で区分されているのでわかりやすい。	御回答ありがとうございました。	---		
8		市野谷小学校の学年別人数試算が知りたい。市野谷小学校の校区になった場合、中学校はおおたかの森中学校になるのでしょうか？	令和3年度の児童生徒数、推計及び想定から、令和6年4月1日時点で1年96人、2年99人、3年95人、4年87人、5年50人、6年72人、計499人（許可区域も含む）の試算をしております。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することとなります。	学童の開設予定はありますか？おおたかの森小学校でのPTAポイントは市野谷小学校に引き継がれますか？	学童について （仮称）市野谷小学校区の学童を開設します。 PTAについて （仮称）市野谷小学校にPTAが設置されるかどうか自体、決定しておりません。また、PTAの運用については、教育委員会からはお答えすることができません。	
9	D	メリットの大きいD案が良いと思います。初期には、児童数のバランスが悪いかもしれませんが、新設校は数に余裕を持っておいて良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---		
10	D	D案希望です。C案だと、おおたかの森2丁目のお友達(ご近所で小さい頃から遊んでる仲)と学校が分かれてしまうのでこどもが不安がっています。また、市野谷小になると中学校が南部中になると聞きました。近くにおおたかの森中があるのに、その近くの中学校を通り越してわざわざ遠い中学校に通うことに違和感を感じます。なのでD案希望です。	御回答ありがとうございました。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することとなります。	---		
11	D	D案希望です。	御回答ありがとうございました。	---		
12	B	Bがバランスがよくていいのではないかと思います。	令和9年度では、学区の面積や、児童数のバランスがいい状況ですが、以降おおたかの森小学校より（仮称）市野谷小学校の児童数が増え続ける見込みをしております。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	新しい小学校はおおたかの森小学校よりも人数が少ない方がいいのではないかと思います。	貴重な御意見ありがとうございました。	
13	D	流山市のD案設定に賛成します	御回答ありがとうございました。	---		
14	D	子供達の交友関係・通学時間を考えるとD案が良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---		
15	C	学区域Cが良いと思います。B案では、将来的に市野谷小のクラス数がおおたか小より上回るのは、キャパシティ的に問題があるかと思います。また、学区域の端の児童の通学距離が長すぎるのも懸念。ですが、現在のD案では、許可区域の方が全員おおたか小を希望した場合、おおたか小の児童数はあまり減らないのではないかと思います。おおぐろ小新設の際も同様で、選択できる方が新設小に進んだ話はあまり聞きません。児童数ある程度均等に振り分けるためにはCが良いと思います。	御回答ありがとうございます。通学区域については、児童数のバランスや地域コミュニティを考慮し、おおたかの森と市野谷との字境を通学区域境として示したところです。このことについて、目の前の学校に通えないという状況は、教育委員会としても保護者から御理解いただけないのではないかとこの議論になり、許可区域とする案を示しています。	新設小を設立する意図をぶれずに進めていただきたい。またC案は南2丁目が分断されるとありましたが、道で分けるのではなく、住所で分けるわけにはいかないのか。市野谷住所のお宅は市野谷小と。それが一番わかりやすいような気もします。	教育委員会としてはD案で示したように住所で分けたいと考えておりますが、今後通学区域審議会で議論してまいります。	
16	D	案Dを支持致します。	御回答ありがとうございました。	特になし	御回答ありがとうございました。	
17	D	D案に賛成です。	御回答ありがとうございました。	---		
18	D	D案が良いと思います、	御回答ありがとうございました。	---		

おおたか小 1 年生（71件）

第2回通学区区域審議会資料
令和3年12月17日(金)

No.	希望学区	通学区域について		その他		資料3
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え	
19	C	C案がいいと思う　理由は通学変更許可区域にあるお家はほぼおおたかの森小学校を希望すると考えられるため	貴重な御意見ありがとうございます。	D案で通学変更許可区域の生徒数は市野谷小学校に含まれているのではないですか？	おっしゃる通り、D案においては許可区域の児童は（仮称）市野谷小学校の人数に含まれております。仮に許可区域内の全員がおおたかの森小に通学したとしても受け入れが可能であると見込んでおります。	
20		どの案であっても、指定学校変更許可区域に該当するため、特に反対意見はありません。	御回答ありがとうございます。	---		
21	D	D案希望	御回答ありがとうございます。	---		
22		特にありません	御回答ありがとうございます。	特にありません	御回答ありがとうございます。	
23		おおたかの森小学校と新設小学校どちらでも選べる区域について、おおたかの森小学校を選んだ場合、中学校もおおたかの森中学校に行くことができますか。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありません。したがって、今までどおり、おおたかの森中学校の通学区域となります。	新設小学校の角の信号機がある交差点について。おおたかの森駅に続く道であり、更に直線のため車両がスピードを出します。児童との接触事故が予想されますので、歩車分離式信号にしてください。	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしています。貴重な御意見ありがとうございます。	
24	D	現在学校が遠い子供達が、更に遠くの学校になるB,C案は反対です。D案でよろしくお願い致します。	御回答ありがとうございます。	D案より新設の生徒数を増やしたいのであれば、D案+マンションを新設の学区にすれば良いと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。一部のマンションだけを別の学区として対応することで、人数的な課題は解決できると想定できますが、地域や学区を分断することや、今後市内の別の場所で、マンションが建設されたときに、同じように学区を設定することは難しいと考えるため、一部のマンションだけを別学区にすることは、現在のところ考えておりません。	
25	D	以下の理由より、案Dがベストだと思います。以前より流山市が公表している〈市野谷小学校基本設計〉において、学校規模は31学級（1000人程度）を想定して設計することと記載あり。今後の市野谷小学校通学エリアの人口増加を考慮すると、令和9年度時点で学級数が31を超えているA案並びにB案は基本計画から逸脱したものである。また、案A・B・Cのおおたかの森南2丁目エリアの児童は通学距離が約1.5倍に増えるため、児童の負担が非常に大きい。特に区画整理エリアに住宅を購入した人は、その他のエリアに比べて割高な土地代を払っており、その理由として、おおたかの森小中学校区域ということが大きく影響している家庭は多いと思われる。小山小学校・八木北小学校の学区変更でも揉めた経緯があると聞いており、同じトラブルをさけるためにも、少なくとも区画整理エリアはおおたかの森小学校にすべきであり、言うまでもなく、おおたかの森南二丁目内で学区を分けるC案は絶対に実施するべきではない。D案のメリットとしては、区画整理エリア内外で学区をわけることに納得いくし、記載してある通り児童への負担も少なく、今後の未開発エリアの人口増にも対応できるよう、市野谷小学校の余力を残すものとなっており、メリットは非常に多いと思う。また、デメリットとして挙げられている、令和6年度及び9年度でのバランスの悪さについては、そもそも現在のおおたかの森小学校・おおぐろの森小学校のバランスも悪く、移行直後にバランスの良さを求めることは意味がないのではないか。学校の新設は何十年という長期的な視点で検討するものであり、市野谷地区に未整備地が多く残っているのであれば今後の人口増加を見越して移行直後のバランスの悪さを受け入れないと、また数年後すぐに学区変更を考える必要が出てくる可能性もあるため、D案に記載されているデメリットは実質デメリットではないと思う。	御回答ありがとうございます。	---		
26		一部の地区だけ指定学校変更許可ができるのは納得がいかない。我が家はどのプランで新小学校のエリアになりますが、学校移動する事に不満があります。	ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。お気持ちお察しいたします。二つの学校の間にある区域で、おおたかの森小学校までの距離が至近である区域を許可区域としました。	現在、どんぐり学童を利用しています。学校は新学校に移動になっても学童は、どんぐり学童を利用したいです。どんぐり学童は、おおたかの森小の児童しか居ませんが、隣接して学童が出来ても選べるようにして通えるようにして欲しいです。または、どんぐり学童と同じNPO法人Rise upの学童を作って欲しいです。とても良い学童です。	（仮称）市野谷小学校区の学童を開設します。学童については、各小学校の学童を利用することになります。	
27		高いお金を払い、この小学校が魅力で家を買ったにも関わらず、小学校の変更。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。（仮称）市野谷小学校もより一層魅力のある学校としていきます。	---		
28	C D	C案かD案が適切ではないかと思います。しかし許可区域の範囲が広すぎると思います。居住時期や集合住宅など区別すべきではないでしょうか。	貴重な御意見ありがとうございます。許可区域については、今後通学区区域審議会で議論していきます。	小中一貫校をうりに土地を買い移り住んだ人たちのこともしっかりと考え検討が必要だと思います。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。おおたかの森小・中学校は小中併設校となります。他の学校でも小中が連携して教育を進めております。貴重な御意見ありがとうございます。	
29		極力そのまま、おおたか小学校に通いたいと、子供が言ってます。	このような事態となり、御子様方に辛い思いをさせてしまい、大変申し訳ございません。	---		

おおたか小 1 年生（71件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
30		三輪野山4丁目について、指定学校変更許可区域へご検討頂けませんでしょうか。宜しく願い致します。	三輪野山4丁目は流山北小学校の通学区域であり、おおたかの森小学校への許可区域であるため、おおたかの森小学校の児童数を緩和するという主旨を考えると、三輪野山4丁目を（仮称）市野谷小学校の許可区域にするというのが、自然な考え方であると考えます。 今後通学区区域審議会でも議論していく必要があると考えます。	---	
31		元々他市町村に住んでいましたが、居住地を構えるに際して、おおたかの森小中学校がある事が土地を買う決めてとなった事が大きいです。学校までの通学距離を考えてもおおたかの森住所の場所はおおたかの森小中学校への通学を希望致します。	貴重な御意見ありがとうございます。中学校の通学区域に関しては、現在のところ変更の予定はありません。	---	
32		A案断固反対である。なぜ、最寄りの小学校があるのに通り越して別の小学校に通わなくてはならないのか到底理解できない。通学中の犯罪や事故のリスクが高くなるのを許せるわけがない。子どもの安全を一番に考えてほしい。	貴重な御意見ありがとうございます。	---	
33	C	転校しなくては行けない場合は、cを希望	貴重な御意見ありがとうございます。	---	
34	D	D案でよいと思う。おおたかの森と市の野で字が分かれる境界線で学区を分けることが最も明瞭で分かりやすい。また、現時点よりも通学時間が長くなる生徒がいないことは子供達に対する必要最低限の配慮だと思う。	御回答ありがとうございます。	---	
35		---		---	
36		今、三輪野山4丁目に住んでいます。越境届けを出しておおたかの森に通ってます。予定の地図には三輪野山4丁目のエリアは学区外なので特に記載がありませんでした。今、1年生ですが、4年生以降もおおたかの森に通えるようにお願いします。	三輪野山4丁目については、今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	---	
37	D	D案が最も無難かと思う。変更許可区域については不満がある方もいる。中途半端に変更区域を作るならいっそ無い方が公平なのではと思う。・6年生は全員おおたかの森のまま卒業なのか、妹弟がおおたかの森に在籍している場合はそのままおおたかの森に残れるのか。	許可区域については、距離的な面を考慮し、両校の間の地域については、許可区域とする案を示しています。学年による許可については、今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	・おおたかの森から市野谷に転校になる場合、PTAのポイントは引き継げるのかゼロに戻るのか教えて欲しい。・現状、市野谷小学校の周りの道路は歩道もなかったり狭かったりする割に車の通りも多いので絶対に安全な通学路になるよう気をつけて欲しい。・近隣住民に対して説明会を開いて欲しい。その際、ネットや市の施設での掲示板などだけでは気がつかない場合が多いので封書やハガキで案内して欲しい。・市野谷小学校卒業後はおおたかの森中学校へ進学で確定なのか（この部分を気にされている方が非常に多いです、市野谷小は南部中になるのではと不安に思っている保護者が結構いますので明言していただきたいです）	PTAについて （仮称）市野谷小学校にPTAが設置されるかどうか自体、決定しておりません。また、PTAの運営に関しては、教育委員会からは回答できません。 通学路について 通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。 説明会について 通学区域の係る説明会については、新型コロナウイルスの影響から、在校生の保護者へのメール、自治会での回覧、市のホームページでの公開という形式をとらせていただきました。今後、皆様のご意見を集約し、通学区区域審議会で議論してまいります。 中学校の通学区域について 中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校へ入学することになります。
38		---		---	
39	D	教育委員会が推奨しているD案が良いと思う。	御回答ありがとうございます。	---	
40		Aは通学距離が長くなる生徒が多すぎだと思います。そのため、小学校へ送迎車が多くなり近所迷惑になる可能性が高いです。許可区域が狭いのもっと拡大しても良いと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	今よりも通学距離が伸びる児童は許可区域にすべきだと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。
41		A案ですと、自宅からおおたかの森小学校はすぐ目の前なのに、相当遠い距離になります。どっちかと言うとってレベルではありません。	教育委員会としても、通学距離が長くないよう配慮したいと考えております。	何故許可区域があんなにせまいのでしょうか？おおたかの森小学校より遠くなる可能性のある所は許可区域にするべきです。	貴重な御意見ありがとうございます。許可区域の詳細については、今後通学区区域審議会でも議論していく必要があると考えます。
42	C	指定学校変更許可区域は本案のとおりぜひ設けていただきたい。教育委員会が推すD案は住所できれいに分かれていて良いが、この推計値どおりうまくいくのか不安があり、児童数学級数のバランス的にはC案が良いと思う。	貴重な御意見ありがとうございます。	新設小の東門側の道路には、東門以南に横断歩道が必要だと思う。	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございます。

おおたか小 1 年生（71件）

第2回通学区区域審議会資料
令和3年12月17日(金)

No.	希望学区	通学区域について		その他		資料3	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え		
43		将来的な中学校の学区も知れると有難い。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありません。	許可区域内に住む者です。	流山市に居住していただき、ありがとうございます。		
44		将来的な中学校の学区も知れると有難い。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありません。	許可区域内に住む者です。小学校建設予定地東側の道路が、交通量が非常に多く、かつ歩道が片側だけでなく大変危険です。車両が白線どころか、宅地の敷地にまで侵入することもあります。先日死亡事故のあった八街市の事故現場は、中央線がなく抜け道として使用されており、ガードレールなど歩行者を守るものが何もないにも関わらず、幅員が足りないという理由から長年にわたり安全対策がなされず見送られてきた箇所だそうです。ですが結局、事故が起きてからガードレールが設置されるという本末転倒な結果となったそうです。小学校東側の道路についても、八街市の事故現場と状況が類似しており、今後小学校だけでなく公園も道路沿いに出来ること・宅地造成による人口の増加から、更なる人の往来が想定されます。歩道・ガードレール設置が難しいのであれば、スクールゾーン・ゾーン30・大型車両通行止めなど、早急な安全対策を求めます。	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしています。貴重な御意見ありがとうございます。		
45	D	Dが良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---			
46		2丁目を分断するC案だけはやめてほしいです。ちょうど境界線付近に住んでおり市野谷小学区となっていますが、近くに住む2丁目のお友達は皆おおたかの森小です。令和6年度には4年生になります。もう低学年ではありません。多感な時期に、今まで構築してきた友達関係を離れひとり転校することだけは絶対に避けたいです。どちらの学区でも構いませんが、2丁目を分断することだけはやめてほしいです。	貴重な御意見ありがとうございました。	どの案でもそうですが、境界線付近の持ち家の家庭については学区を選択できるようにしてください。	貴重な御意見ありがとうございました。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。		
47	B	D案が有力との事ですが、短期間で小山、おおたか、おおぐろの分離、3年で市野谷の分離という流れから、短期間での学区の変更も致し方無いとの考え方に切り替え、可能な限り児童数が偏らないようB案を採用して欲しいです。おおぐろへ分離しても、全く児童数が減らずに驚きました。強制的に学区変更、お友達とのお別れも強いられているのだから、おおぐろも2-3年で学区の変更があったとしても、直近3年予想を繰り返す方がメリットがあると思います。	大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。 その時々の子童推計値で、基準に最適である通学区を設定してきましたが、このような事態となり、御子様方に辛い思いをさせ申し訳ございません。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	最終学年への考慮は継続して欲しいです。	貴重な御意見ありがとうございました。学年による許可については、今後通学区区域審議会でも議論していく必要があると考えます。		
48		市野谷に住んでいます。	流山市に居住していただき、ありがとうございます。	---			
49		小中一貫、学校からも近いということで引越しをしてきたので納得できません。また許可区域の範囲が狭すぎだと思います。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。おおたかの森小・中学校は小中併設校となります。他の学校でも小中が連携して教育を進めております。 許可区域については、今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	---			
50		三輪野山4丁目に住んでおり、旗振り当番や三輪野山5丁目との兼ね合いで市野谷小学校への通学区も視野に入れないといけなかなと考えています。	三輪野山4丁目は流山北小学校の通学区であり、おおたかの森小学校への許可区域であるため、おおたかの森小学校の児童数を緩和するという主旨を考えると、三輪野山4丁目を（仮称）市野谷小学校の許可区域にするというのは、自然な考え方であると考えます。 今後通学区区域審議会でも議論していく必要があると考えます。	市野谷小学校へ転入して、令和9年にはおおたかの森中学校へ入学できるのでしょうか。姉が令和6年4月?令和9年3月までおおたかの森中学校へ通う予定です。	中学校の通学区に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。		
51	D	D案が学区の分かれ目としてわかりやすく、児童の通学時間等考えると一番良いと考えます	御回答ありがとうございました。	小学校の学区がそのまま中学の学区に反映されるのか早めに知りたいです	中学校の通学区に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。		
52	D	D案に賛同します。人数の調整も大事な事だと思いますが、やはり家から通いやすい距離の学校へ学区を区切る事も重要かと思います。	御回答ありがとうございました。	---			
53	D	D案が良い。わかりやすい境界だし、通学時間も良い。市野谷地区は今建設中の住宅もあり、今後さらに生徒数は増えるはず。	御回答ありがとうございました。	---			
54	D	区画が分かりやすいため、D案に賛成です。	御回答ありがとうございました。	---			
55	D	案Dが良いと思います	御回答ありがとうございました。	---			
56	D	案Dがいいと思います。学区が分かれてしまう線上、または近辺に住んでいる生徒にはどちら側の学区に入るか選択できるようにするのも良いと思います。	貴重な御意見ありがとうございました。	---			
57	B C	B案もしくはC案を希望します。	貴重な御意見ありがとうございます。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	市野谷の選択できる地域に住んでいます。市野谷小学校卒業後の進学先学区を、予め提示して下さい。それを加味して、選択したいと思います。	中学校の通学区に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。		

おおたか小 1 年生（71件）

第2回通学区区域審議会資料
令和3年12月17日(金)

No.	希望学区	通学区区域について		その他		資料3
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え	
58		---		---		
59	B C	今後の事を考慮して、生徒数のバランスが良いB、C案が良いと思う。D案は現状とたいして変わらないと思う。	市野谷地区の今後の人口増加及び通学距離を考慮し、D案を教育委員会案としました。令和6年には、現おおたかの森小学区より約500人減、令和9年には、約800人減となります。市野谷地区には未整備地が残っており、今後、市野谷地区の人口増加が見込まれるため、（仮称）市野谷小学校の教室数に余裕をもたせておく必要があると考えております。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	---		
60		---		---		
61		特にありません	御回答ありがとうございました。	市野谷小学校に通学した場合、中学校はどこになるか教えて欲しいです	中学校の通学区区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	
62		---		---		
63	B C	市野谷小学校学区ですが、おおたかの森小学校の目の前に住んでおり、変更許可区域を設けてくださったのはとても感謝しています。おおたかの森小学校に極近く、中学校卒業まで安全に通学できることを念頭に家を購入しているので、市野谷小学校ができると聞いてからとても不安でした。まだ確定ではないと思いますが、変更許可区域は予定通り必ず設けていただきたいと思います。また、おおたかの森小学校の生徒数増加が新設理由なのであれば、D案ではあまり現状と変化ない気がします。Bや、C案の方が人数比としては良いのかなと思います。	開校当時は、人数のバランスの悪さはありますが、市野谷地区には未整備地が残っており、人口増加が見込まれるため（仮称）市野谷小学校の教室数に余裕をもたせておく必要があると考えております。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	新設校の建設場所は確定しているので今更ではありますが、何故このような至近距離で新設校を建設することを決定したのでしょうか。現状でも駅の反対側や、SCよりも遠いところなど、とても遠くから通学している子が沢山います。その子たちの安全な通学を考えたら、もう少し駅に近い別の場所等検討していただきたかったなと思います。	ご迷惑をおかけして申し訳ございません。おっしゃる通り駅周辺に人口が集中しておりますので、駅周辺に学校建設が出来れば良いのですが、小学校では約2ヘクタールの土地が必要となり、その土地の確保が難しかったため、このようになりました。貴重な御意見ありがとうございます。	
64		市野谷小学校学区ですが、おおたかの森小学校の目の前に住んでおり、変更許可区域を設けてくださったのはとても感謝しています。	御回答ありがとうございました。	---		
65	D	D案に同意いたします。A、B、C案の場合、現在より通学距離が長くなる	御回答ありがとうございました。	---		
66	D	D案に同意いたします。A、B、C案の場合、現在より通学距離が長くなる児童が多数いる為。	御回答ありがとうございました。	---		
67		三輪野山4丁目から通学してる子ども達は市野谷小学校区域にしたいです。	三輪野山4丁目は流山北小学校の通学区区域であり、おおたかの森小学校への許可区域であるため、おおたかの森小学校の児童数を緩和するという主旨を考えると、三輪野山4丁目を（仮称）市野谷小学校の許可区域にするというのは、自然な考え方であると考えます。今後通学区区域審議会でも議論していく必要があると考えます。	---		
68	D	Dのみです。	御回答ありがとうございました。	今より遠くなるのは許諾できません。	貴重な御意見ありがとうございます。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	
69	D	通学区区域については、今後の人数の予想を踏まえている案Dが良いと思うが、市野谷小学校卒業生がどの中学校に進むのか同時に決めるべきではないか。許可区域の設定は、交通安全上良いと思うが、変更するかどうかの判断材料に中学校のことを考えたい保護者は多いのではないか。	中学校の通学区区域については、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	市野谷小学校開校後に就学する学年は、例外無く通学区区域により入学すべきだと思う。兄や姉も市野谷小学校に転校させないと、おおたかの森小学校が減らないと思う。	貴重な御意見ありがとうございます。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	
70		A,B,Cエリアも数年限定でいいので、選択許可区域にしてほしい。A区域に住んでるが市野谷小学校がいい。今のおおたかの森小の規模は、うちの子供は適応しづらい。	貴重な御意見ありがとうございました。今回の通学区区域変更地区については、市野谷小学校への許可区域は設けておりませんが、お子様の就学のことと特別な事情がある場合は、個別でご相談も受け付けております。	B,Cの学校規模がいい。高学年や中学生の教室が点在してるおおたかの森小中の今の規模は好ましくない。また1学年の人数が多くてクラス替えのたびに知らない子が当たる確率が高すぎる。B,Cエリアの方がおおたかの森小を希望する可能性があるなら、期間限定でA～C選択肢にしてほしい。支援学級の子は交流級が大規模だと、落ち着かない。市野谷小は落ち着いた環境づくりを注力して、どちらも選択できると良い。	貴重な御意見ありがとうございます。今後、通学区区域審議会で議論してまいります。	
71		---		---		

おおたか小 2 年生（38件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1	D	D案に賛成です。	御回答ありがとうございました。	---	
2	C	C	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
3		許可区域を、txより下の区域?レタンブリュス交差点まで広げた方が良いのではないのでしょうか。この区域に住む子どもたちが市野谷小に通学する場合、最短距離では細く歩道のない道路を歩かせることになり、歩道の広い道路を通学路とするならばおおたかの森小の前の通りに出ねばならず、安全面、距離を考えてもおおたかの森小が最適だろうと思います。特に、市野谷小前の道路は狭く車通りも多く、スピードも速いため、大人の私でも歩道を歩く、渡るのは怖いと感じることが多いため、ましてや小学校低学年の子どもたちが時にはたくさんの荷物を持ち、歩くには非常に危険です。おおたかの森地域はまだ開発地が多いためトラックも多く、このような道を歩かせるのは先日の八街での痛ましい事故のこともあり、近隣住民として保護者として大変不安です。レタンブリュスより南側、市野谷小前道路より西側は縁石のついた歩道があるため、通学路としては問題ないかと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。許可区域の詳細については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。	住宅ばかりが増え、このように学区編成がされるのは仕方がないことかとも思うが、正直なところ子どもが学校に通っている間に2度も学区編成の話が来るとは思わず、流山市の見通しの甘さに残念な気持ちにもなる。住民を増やすのであれば、郵便局や銀行、月極等の貸駐車場、コンビニエンスストアやお店も必要になるかと思います。またこれだけの住民がいて災害時の避難所は受け入れは可能なのでしょうか？昨年の豪雨で、キッコーマンアリーナは駐車場もアリーナ入り口前も冠水しており非常に危険でしたが、そうなると学校だけでは対応できなくなると思います。市の施設の充実を検討していただきたいです。	御回答ありがとうございます。このような事態となり、御子様方や保護者の方々に、御心配・御迷惑をおかけして、大変申し訳ございません。災害対策として、新型コロナウイルス感染症等の影響も考慮し、現状では建物の倒壊や浸水等により、自宅で生活ができない状況ではない限り、必ずしも避難所に避難する必要はありませんが、流山市内の指定避難所は全部で67か所あり、小中学校以外、各福祉会館や公民館、県立高校等も指定避難所となっているため、避難所を開設した際は、避難者の受け入れを行います。
4	D	D案に賛成です。	御回答ありがとうございました。	バランス が良いのでD案が良いと思います	御回答ありがとうございました。
5	D C	D案の方が区分けとしては住所で綺麗に分かれるのでD案が良いかと思いますが、児童数のバランスを考えるとC案が良いのかなと思います。	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	指定学区変更の許可区域は案通りの区域で設定していただきたいです。距離がおおたかの森小学校にも近いこともありますし、信号を渡らなくて良いので、そういう点からも通学時、安心感があります。	御回答ありがとうございました。様々な意見がありますが、許可区域の詳細については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。
6	D	D案で良いと思います。通学路が重なる所でトラブルが起こった場合に判断や通報が難しくなると思うので、D案が良いのではと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
7	D	D案で賛成です	御回答ありがとうございました。	---	
8	D	デメリットが一番少ない、D案に賛同いたします。	御回答ありがとうございました。	---	
9	D	教育委員会のD案に賛成。おおたかの森南2-8（A,B案に含まれているエリア）からおおたかの森小学校に現在通学していますが、子供の足で25分程かかり遠くて大変だと言います。ここからさらに市野谷小の正門まで距離が伸びるのは子供の身体と心に負担が大きいですので避けたいです。もし児童数のバランスが取れなければ市野谷字名の許可区域を市野谷小に入れるべきと思います。おおたかの森小に絶対通わせたいと思う多くの保護者は不動産価格が高くてもおおたかの森住所の土地を購入してきました。一方市野谷住所はおおたかの森小通学区域外になる可能性があるため、それに比べると価格は高いものではありません。おおたかの森字名エリアを出来る限りおおたかの森小通学区域に残して頂きたいです。	御回答ありがとうございました。	---	
10		---		おおたかの森小学校5、6年生は認定区域内外に関わらず、どちらに行くか選択できるようにして欲しいです。また、区域の決定と同時に中学校をきちんと伝えて欲しいです。小中併設を市としてはアピールしてきましたし、市野谷小に行っても、おおたか中学校に行けるように、市には頑張っていただきたいです。	学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えます。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
11	D	流山市教育委員会推奨のD案で良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
12	B C	バンクするおおたかの森小の人数を減らすという目的に沿えば、B又はCが妥当、Aでは本末転倒、Dでは効果が低いと考えます。	市野谷地区には未整備地が残っており、今後市野谷地区の児童数が増加することを想定しております。貴重な御意見ありがとうございました。	A案をわざわざ提案する意図がわかりません。特に、市教委においてD案を推しているのなら尚更です。無駄に学区内を混乱や不安に陥れています。	御心配・御迷惑をおかけして、大変申し訳ございません。通学区域案については、通学区域の面積、距離、児童数・学級数等を総合的に考慮し、比較できるようにA案からD案まで提示しております。
13	D	Dを強く希望します。	御回答ありがとうございました。	今後おおたかの森小中学校の増設などは検討されているのか知りたいです。	御回答ありがとうございます。現在のところ、おおたかの森小・中学校の増設の予定はありません。
14	C	C案がいいと思います。令和9年のバランスもいいし、遠くなる子も少なくていいと思います。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
15	D	Dを希望。登下校時の人数が分散されまばらになると、安全上不安を感じる。	御回答ありがとうございました。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。	おおぐろの森中学が開校すれば、小学校の教室を中学生が使用することなくなるのでDで対応できるのではないかと思います。2丁目で分断されると、2丁目のおおたかの森小学校の児童の下校時、児童が少なくなる為、安全上心配です。	御回答ありがとうございました。
16	D	D案を希望します。同じ南の町内でありながら、違う小学校に通うことになるのはおかしい。	御回答ありがとうございました。	---	

おおたか小 2 年生（38件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
17		---		---	
18	D	D案がよいと思います	御回答ありがとうございました。	今後、学区が変更になる可能性があるなら教えてください。	御回答ありがとうございます。令和7年度以降の通学区域の変更の予定は、現在のところありません。
19		---		中学はどこの中学になるのでしょうか？	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
20	D	D案が一番良いと思います。通学時間が今より長くなるかどうかは皆さんが一番危惧されていることだと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
21		通学が遠くなることだけは絶対に避けていただきたい。子供たちは毎日のことなので大変です。旗振り等、地域の見守りの観点からおおたかの森と市野谷の住所で分けるのが望ましいと思います。	御回答ありがとうございました。	令和6年度に5.6年生になる高学年の児童は、移動することがなく、残りの小学校生活も出来るだけ同じ環境で過ごさせてあげたい。また兄弟のことも配慮すべきだと考えます。すべて大人の都合なので。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。学年及び兄弟による許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。
22	D	Dがバランスがよい	御回答ありがとうございました。	---	
23	D	D案でお願いします。おおたかの森小学校へ通えと聞き(その当時、市野谷小学校ができるという話はなかった)、家を購入しました。よろしくお願い致します。	御回答ありがとうございました。	---	
24		---		---	
25		スターボックスやレタンブリュス付近の児童が通学する際、小学校前の道路に歩道がないのですが通学路はどのようにお考えでしょうか？	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。	中学校について記載がありませんでしたが、おおたかの森中学校で間違いないでしょうか？	御心配をおかけして大変申し訳ございません。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
26		許可区域賛成です。おおたかの森小学校の目の前に住んでいます。許可区域ではありますが、在籍児童のみでなく、この先も許可区域制を将来的にも実施してほしい。（おおたかの森小学校の側面や、裏ではなく、学校の正面の目の前なのに、学区が変わるのは、正直納得できないが。旧地名で分けているだけですか？）現地を見てから決めて欲しい。	現在の案においては、許可区域に期限は設ける予定はありません。D案では、通学区域を字で分けております。そのため、両校の間の区域に関しては許可区域としております。	大変お疲れ様です。保護者の声を拾ってください。	ありがとうございます。できる限り多くの方の御意見を踏まえ、通学区域審議会で議論してまいります。
27		おおたかの森小学校と市野谷小学校を選択できる区域に住んでいる場合、市野谷小学校を選択してもおおたかの森中学校への通学は可能かどうか。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校へ入学することになります。	---	
28	D	D案採用に賛同いたします。	御回答ありがとうございました。	小学校のみの新設となるのですが、新設される小学校学区となった場合はおおたかの森中学校に通えるのか確認したいです。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
29	D	Dがいいです	御回答ありがとうございました。	Bの範囲内に住んでいます、おおたかの森小に通いたいと考えています	御回答ありがとうございました。
30		---		---	
31	D	D案に賛成です。今よりも遠くなる地域は極力少ない方が良いと思う点と、今後の市野谷の住民増加に備えて地区としての余裕を持たせた方が良く感じました。	御回答ありがとうございました。	---	
32		提案が	御回答ありがとうございました。	許可区域の範囲や要件について柔軟に対応していただきたい。例えば兄弟がおおたかの森小学校の在校生であれば、下の子も同じおおたかの森小学校に通学することができるようになど。	御回答ありがとうございます。許可区域の範囲や要件については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。現在の案では、許可区域内であれば、期限や学年等の条件は設けておりません。
33		許可区域の適用について柔軟に対応していただきたい。	許可区域の詳細については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。貴重な御意見ありがとうございました。	許可区域の範囲や要件について柔軟に対応していただきたい。例えば兄弟がおおたかの森小学校の在校生であれば、下の子も同じおおたかの森小学校に通学することができるようになど。また、5年生や6年生が1年間だけ新設小学校に編入することについては児童の環境や精神面での負担も大きいのではと考えます。このような点にも配慮していただきたい。	御回答ありがとうございます。学年による許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。
34		---		---	
35		距離や通学時間が変わらないのであれば、現在通っているおおたかの森小学校のままにしてほしいです。	通学距離や通学時間が長くないように考慮しています。また、許可区域を設定し対応しておりますが、許可区域の詳細については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。貴重な御意見ありがとうございました。	学校は選択制にし、子供に選択出来る権利を。通学時間も距離も変わらないのならば、なぜ学校を変わらなければならないのか疑問に思います。子供たちは、置き去りになり大人の問題ですよね、子供たちにも選択する自由をお願いします。	御迷惑・御心配をおかけして大変申し訳ございません。通学時間や距離が長くないよう考慮したいと考えております。また、許可区域を設定し対応しております。許可区域内であれば、学校を選択し、おおたかの森小学校へ変更することができます。貴重な御意見ありがとうございました。

おおたか小 2 年生（38件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
36	A	Aを希望します。	御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	許可区域はあまりにも近いので選択制が良いかと思います	流山市では指定学区制を導入しています。許可区域は市野谷小学校の通学区域ですが、必要があればおおたかの森小学校への変更することができます。
37	A B	案AあるいはBが望ましいです。市野谷小の今後を見越して余裕を持たせておくよりも、直近で逼迫しているおおたか小に目を向けるべきだと思います。	御回答ありがとうございました。開校時の人数のバランスを重視すると、近い将来（仮称）市野谷小学校の児童数が増加し、再度通学区域の変更を行うことになる可能性を考慮しております。	---	
38	A B C D	おおたかの森小学校通学地域は、超大型マンション建設が終了している現タイミングの児童数をピーク（MAX近似値）として据え置くのが望ましく、大幅増加を避けるためには未開発地域を通学地域に含めるべきではない。従って基本的にはA?D案どれも妥当だと思います。	貴重な御意見ありがとうございました。	各案のデメリットとして「現学校より新小学校への通学距離が長くなる児童がいる」旨が目立つが、この観点は少し変えた方が良いと思います。遠くなる個人から見れば近い方が良いのは当然だからです。個々から見た時の通学距離ではなく、通学区域全体から見た時の通学距離を見るべきで、「片道〇〇分以上の児童が何人いるのか」という観点が必要だと思います。その結果、例え遠くなる児童がいても「片道〇〇分以上かかる児童が何割減る」というメリットになり得ると思います。	A～Dのどの案においても、距離が近くなる児童は市野谷地区の一部ですが、それぞれの案において、その割合までは算出しておりませんでした。通学距離が長くなることを心配される保護者が多いと認識し、このような表現になったしだいです。貴重な御意見ありがとうございました。

おおたか小 3 年生（41件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1	B C	教育委員会はD案推奨とのことだが、児童数のバランスが悪い。昨年おおぐろが開校したが、例えば3年生でおおたかの森が8クラス、おおぐろは2クラスというようにバランスが悪くおおたかの森のマンモスぶりには変化がない。おおたかの森は中学校も併設し、共用施設もありこれからまだ中学生の増加もみこまれる。思いきってB案やC案を採用し、児童数の分散をはかってほしい。	市野谷地区には未整備地が残っており、今後市野谷地区の児童数が増加することを想定し、教育委員会としてはD案を推奨しています。おおぐろの森小学校の3年生は令和3年度は2クラスですが、今年度時点での児童生徒推計値では、令和4年度は3クラス、令和5年度は5クラスとなる見込みです。おおたかの森中学校は、令和3年度には、通常学級21学級ですが、おおぐろの森中学校開校により、令和4年度は15学級、令和5年度は13学級となる見込みです。貴重な御意見ありがとうございます。	---	
2	D	D案でお願いします。学校に遠い子達がさらに遠い新設に通うABC案は断固反対です。マンションに小さい子が沢山いるので、市野谷小の生徒数を増やすなら、D+マンション(サウスアリーナ)がいいと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
3		---		毎回毎回分離で子どもたちがかわいそうです。市野谷小学校に行った後、南部中に学区になるんじゃないかと心配している保護者もいます。おおたかの森が良くて越してきた方もいるので。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
4	A B	A案B案のどちらかが良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
5	A	案A	御回答ありがとうございました。	なし	御回答ありがとうございました。
6	D	案Dが妥当だと思います。	御回答ありがとうございました。	こどもたちのためにを一番に宜しくご検討ください。	教育委員会としてもできるだけ御子様への負担がないように考えてまいります。
7	D	今よりも通学路が長くなる学区は反対です。D案ならその件についてはクリアしてると思います。	御回答ありがとうございました。	入学したのなら最後まで通ってる学校で卒業したいのが子供と親の願いです。	お気持ちはお察しします。しかし、教室数の関係上、全員を入学した学校で卒業させることができないのが現状です。御心配をおかけして大変申し訳ございません。
8		なし	御回答ありがとうございました。	おおたかの森小学校から市野谷小学校までの道ですが、大型車両の通行を禁止する、また夜間の照明の増設を、希望します。子供達の安全担保のためです。	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。
9	D	D案を希望します	御回答ありがとうございました。	---	
10	C	C案がベストだと思います。理由は人数バランスが良いため。現時点でもおおたかの森小の人数が多すぎるため、生徒一人一人に対応する時間が少なくなっていると感じます。児童数をなるべく少なくして、一人一人に対する時間を確保して欲しいと切に願います。	御回答ありがとうございました。	学区が分断される、現状より距離が長くなる等の理由を挙げられていますが、F地区の児童は今回学区変更となる児童よりも更に長い距離を毎日、頑張って歩いて通学しているのを忘れないでください。学区分断についても、F地区は過去に小山小からおおたかの森小へ学区変更になった際に、有無を言わず学区が分断されました。よって、それらの理由はC案を却下する十分な理由とは言えないと思います。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。今回の（仮称）市野谷小学校の件についての件は、当時の児童数や地理的状況が違うため、分けて考えております。しかしながら、必ずしもC案を却下するものではなく、このアンケートは、実際のメリット・デメリットと教育委員会の意見を市民の皆様へ提示し、御意見を求めることを趣旨として実施しているものです。
11	D	案Dが良いと思います。まだ未開発の地域が多数あり、今後住宅地として開発されていくと思います。逆におおたかの森はある程度開発も頭打ちとなりつつあり、そこまで急激な生徒数増加にはならないと思います。それらを踏まえると、わざわざ現時点での生徒数の比率のみで学区を決定すると、結果的にまた人数調整をせねばならず不便だと思います。よってD案が良いと考えます。	御回答ありがとうございました。	---	
12		特になし	御回答ありがとうございました。	特になし	御回答ありがとうございました。
13		おおたかの森小の方が近いので転校したくありません	貴重な御意見ありがとうございました。	---	
14	B	B案がバランスもよくいいと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
15		---		上の子が開校年度に6年生、下は3年生になります。6年生でも転校になりますか？転校しなくても良い場合は、下の子だけ転校になりますか？中学校はおおたかの森中学校に戻れますか？	御回答ありがとうございます。学年による許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。また、もし上のお子さんが許可された場合、兄弟姉妹で学校が別々にならないような配慮を現在もしております。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
16		---		---	
17		---		---	
18	D	D案が望ましいと思います。児童の安全の為、車道を横断する機会は出来るだけ少ない方が良い。	御回答ありがとうございました。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。	---	
19	D	D案に賛成です	御回答ありがとうございました。	特にありません	御回答ありがとうございました。

おおたか小 3 年生（41件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
20		特になし	御回答ありがとうございました。	許可区域でおおたかの森小にした場合、中学校も必然的におおたかの森中になりますよね??	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生もおおたかの森中学校に入学することになります。
21		---		6年生になる生徒は、おおたかの森小やおおぐろ小の時のように、市野谷小へ行くかどうかは本人が決められるようにして欲しいです。	学年による許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。貴重な御意見ありがとうございました。
22		玄関を出てすぐ横を見ると学校のグラウンドが見えます。	許可区域の範囲については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えております。御回答ありがとうございました。	---	
23	D	D案に賛成します。A案であると市野野小学校の方が児童数が大きくなってしまい、まだまだ開発地ということであれば、もしかしたら想定よりももっと児童数が多くなってしまう可能性がある。B案、C案であると児童数のバランスは良いが通学距離が長くなってしまうと思うので、特に低学年は大変である。6年度9年度のバランスはよくないが、先を見据えた際には一番D案が良いのではないかと思う。	御回答ありがとうございました。	---	
24	D	D案を推薦します	御回答ありがとうございました。	---	
25	A	案「A」が通学区域のバランスが均等で良い	御回答ありがとうございました。	---	
26	D	D案に賛成します。Cで分けると、同じ2丁目で学区が別れるのは都合が良くないです。また、ABCでは中学が更に遠くなります。	御回答ありがとうございました。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	今回のアンケートの対象ではCD案が不利なのではないでしょうか。集計数の比率で結果を出さないでほしいです。また、市野谷小に通学しても、おおたかの森小、中のように、小中連携や図書館等施設の充実をして、子どもたちが楽しく学校生活を送れるようにしていただきたいです。	今回のアンケート結果は、そのまま通学区域を決定するものではなく、いただいた意見をもとに、今後通学区域審議会で議論していくものです。小中連携は流山市の全ての小中学校で、学区内の学校同士の連携を図っております。図書館を設置する予定はございませんが、図書室に関しては、（仮称）市野谷小学校においても充実させる予定です。
27		---		---	
28	D	D案に賛成です。市野谷地区の今後の人口増加を考えると余裕を持たせた方がよいと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
29	C D	A.B案だとあまりにも小学校が遠くなり通学路が心配です。また今後の人数の事も考慮して、C、D案が良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
30	D	今通学している生徒に関しては、極力影響がないようにすべきです。そもそも家などを購入する際もその前提で土地選びをしています。D以外ありません。	御回答ありがとうございました。	通学距離が長くなる割合が多くなるのは、家庭の負担も増え「母になるならおおたかの森」と謳っているのに反している。新しいところにも小中併設にして、影響の出る世帯を減らす計画はあるのでしょうか？してないのであれば、すべきです。小学校のこじしか検討してないのは、計画性が無さ過ぎます。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
31	D	D案で問題ないと思いますが、2点質問です。許可区域の児童が全員おおたかの森小学校を選択した場合も、おおたかの森小学校の人数には余裕がありますでしょうか？また、おおぐろの森小学校開設時、6年生は引き続きおおたかの森小学校に通学可能でしたが、今回もそのような対応はありますか？	現在の許可区域の範囲では、全員がおおたか小学校に変更した場合も受け入れが可能であると見込んでいます。許可区域の範囲や学年による許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えております。御回答ありがとうございました。	---	
32	D	Dが1番みなさんが納得される形だと思いますが、あまりおおたかの森小学校の人数は減らないかとは思いますが、	令和6年度におおたかの森小学校の児童数を減らし、市野谷小学校の児童を増やしてしまうと、将来的に今度は市野谷小学校の児童数が増加し、再度通学区域の変更をする可能性があります。そのため、おおたかの森小学校の人数は極端には減りませんが、将来的に現おおたかの森小学校区内の児童に占める割合は徐々に減っていくと予想されます。御回答ありがとうございました。	道路の横断を増やす事になってしまうので、許可区域を無くす事のないようお願いします。	通学距離や通学の安全等も考慮し、検討させていただきます。貴重な御意見ありがとうございました。
33	D	新設される小学校の規模から案Dが良いかと思いました。未整備地が残っている中で案D以外を採用した場合、将来的には新設小学校での学級数が増加してしまうと思います。許可区域を設けている点については賛成することができません。許可区域はおおたかの森小学校と新設小学校との双方から近いこともあり、許可区域としているとのことですが、双方から近いのであれば安全面、利便性からも選択性にする必要はないと思います	許可区域を設定しなかった場合、おおたかの森小学校の西側の家庭は、目の前にあるおおたかの森小学校に通わず、（仮称）市野谷小学校に通うことになります。このようなことを極力避け、柔軟に対応するために、許可区域を設定しています。貴重な御意見ありがとうございました。	---	
34	D	ABC案は子供の通学距離を考えておらず全く使えない。D案以外あり得ない。	御回答ありがとうございました。	子供達の通学を優先して考えること。住民はそういうことを考えて住宅を購入していることを意識していただきたい。	御回答ありがとうございました。御心配をおかけして大変申し訳ございません。通学距離等を考慮したいと考えております。
35		---		---	

おおたか小 3 年生（41件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
36		なし	御回答ありがとうございました。	（仮称）市野谷小学校の建設地には、大きな桜の木があると思いますが、樹齢も長く、残していただく建築計画となっていますでしょうか？毎年、桜を見に来られている方も多く、残す方向で計画をお願いいたしたく！	桜の木を長らく親しみを感じていただきありがとうございます。該当する桜の木は、今後、伐採していく予定です。このような事態となることで、辛い思いをさせてしまい申し訳ございません。伐採する理由としては、学校建設する上で、桜の木が校庭予定地にあり、移植も検討しましたが、枯れる恐れがあるため、このような計画となりました。桜の木は、（仮称）市野谷小学校建設時に別途、校門付近に多数植栽する予定です。
37		通学距離が今より遠くなる可能性があるABC案は賛成できない。	御回答ありがとうございました。	---	
38		---		---	
39		結局のところ通学区域外であっても、許可が出るようであれば通学区域自体はあまり意味がないと思います。兄弟等を考慮するとますます意味がないかと。結局のところおおたか小の混雑ぶりは緩和されないのでは？	通学区域外であっても御家庭の御事情によっては変更が認められることはあります。また、兄弟姉妹で別々の学校になってしまうことで、学校行事等の参加が難しくなることを考慮して、現在も兄弟姉妹は同じ学校に通えるような配慮をしております。御回答ありがとうございました。	---	
40		---		新しい小学校に行ったとしても、中学校は、おおたかの森中に必ず戻して頂きたい。	中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。
41		---		---	

(仮称)市野谷小 (29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2)

			通学区域について		その他	
No.	回答方法	希望学区	意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1	FAX		スターボックスから一本入った並びに住んでおります。おおたか小につながる大道りへ20秒弱で出られる場所です。直線を子供の足でも10分かからない時間で上の子が現在通っております。一部、指定学校変更許可区域があるようですが、その中で新設校の方が近い場所にお住いの方もいらっしゃると思います。その方たちは変更可能で明らかにおおたか小に近いこちら側が選べないのは、おかしいのではないのでしょうか。線引きの基準が不明確で理解に苦しみます。クラス数が増えるばかりで分離せざるを得ない事情は分かります。が、懸念点があります。 ①中学校はどうなるのでしょうか？ 南部中になるという噂がありますが、もしそれが本当ならば新設校への通学は出来かねます。すぐ見える場所におおたか中がありがたながら、わざわざ遠方に通うというのは、あまりに理不尽で受け入れられません。 ②通学路の安全はどのように確保されるのでしょうか？信号や横断歩道は新設されるのでしょうか？人目につきにくいTX沿い、無駄に遠回りをする様な通学路では通いにくく不安です。 ③おおたか小前の横断歩道を渡るのはごく限られたお子様のみになると思われませんが、新設校含め旗担当の役割分担はどうなるのでしょうか。そのあたりも見据えておられるのでしょうか？ 他、教育における設備、環境はきちんと整うのか。9クラスを経験した後の極端に少人数となる状況で子ども達に戸惑いはないか、全てが想像できないため、不安でしかありません。上の子に影響がないからか、資料メールが届いておりませんので個別に送らせて頂きました。 こちらの事情も汲んで頂き、早急にこれらの事を明確にしていきたいと思います。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。許可区域については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。 ①中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。 ②通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。 ③子どもたちやその保護者の方にとって、旗振りの方がいた方が安心して登校できると認識しております。見守り活動は、その地域の方々を中心とした御厚意により成り立っているものです。役割分担等は各学校の判断になると考えますが、近隣校であることから連携を図っていくことは可能と考えます。また、教育設備は新設小学校でも整備していきます。学校が変わることで子どもたちに精神的負担をかけてしまうことも認識しております。負担を軽減できるよう必要な対策を講じていきます。 貴重な御意見ありがとうございました。		
2	FAX		貴重な御意見ありがとうございました。 通学距離の関係から、流山北小学校の学区にすることは考えておりません。 中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。 御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。	資料の地図が見にくくて理解しにくい。もっと分かりやすい資料を付けるべきだと思います。 関連はしていませんが、何故おおぐろの森小だけ制服を変えたのでしょうか？公立学校であれば全部統一すべきではないのでしょうか？	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。今後わかりやすい資料とするよう努力してまいります。 制服については、現在も公立中学校全てで統一ではなく、学校長判断でそれぞれの制服を使用しております。おおぐろの森中学校は、開校へ向けて、児童生徒とその保護者へアンケートを取り、その結果を参考にし決定しました。	

(仮称)市野谷小（29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
3	メール		大型マンションのある後平井地区を、市野谷小学校、八木南小学校のどちらかを選択できる指定学校区域への追加検討をしていただきたいです。 ■理由・子どもの安全確保 大型マンションから八木南小学校までの通学路は、高低差があるかつ、子どもの徒歩で30分以上かかり、特に低学年の子どもへの体にかかる負担が大きいです。市野谷小学校に通学できると、登校環境が改善され体への負担軽減が期待できます。また、信号を渡る回数も少なくなり（4,5回⇒2回）、交通安全リスクの低減にもつながります。 ・共働き家庭の支援 共働きする家庭が増えております。学校および隣接する学童が遠いと、働く親への負担（付き添いなどの子供の登下校フォロー、PTAなどの学校行事対応）および、お迎え時間の観点から十分な勤務時間が確保できず、働くモチベーションの低下リスクがあります。市野谷小学校および隣接予定の学童の利用ができると、子育てしながらも、共働きしやすくなります。 ・市野谷小学校の活性化 市野谷地区は未整備の土地が多く、今後児童数増加が予想されます。その一方で、予想よりも児童数が伸び悩むリスクもあるかと思います。小学校を活性化するための1つの要素として、児童数の増加が挙げられます。大型マンションを含む後平井地区には、今後小学生となる児童が多いです。周囲状況からの推定ですが、開校時、小学1年生になる児童は、20名以上おります。後平井地区の指定学校区域追加により、市野谷小学校の児童数を確保でき、活性化に貢献できると考えております。	御回答ありがとうございます。現在のところ、八木南小学校の通学区域を一部変更することは検討しておりません。理由としては、今回の新設校建設の趣旨は、おおたかの森小学校の児童数が増加したことによるものだからです。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。		
4	メール	D	理由）子どもがおおたかの森小学校に通い慣れている。このままおおたかの森小・中学校へ通学させたい。距離も通いやすい。 噂ではあるが、市野谷小学区は南部中へ進学との憶測もあり不安。 子どもの友人が近所に多く住んでおり、学区が分かれることによるデメリットがある。	御回答ありがとうございます。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	現在の住所が仮換地となっており、換地完了が令和12年とのこと。時間がかかることは仕方ないにせよ、細い道路でおおたかの森南2丁目と市野谷を住所分けせず、学区と同じでD案をおおたかの森南の表記にしてほしい。	貴重な御意見ありがとうございます。
5	メール		在校生は、学校の自由選択制を認めて欲しいです。	御回答ありがとうございます。在校生が全員おおたか小学校に残ることは難しいと認識しておりますが、学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。		
6	メール		子育てするためおおたかの森へ引越してきました。2歳の娘がいます。日々の業務いつもお疲れ様です。おかげさまで快適に過ごしています。この地を選んだ理由に子育てに真摯に向き合っている地域、おおたかの森小中学校が建築物として素晴らしいという理由があります。 新しい学校が出来るのは喜ばしいことですが、子どものことを思えば学区が遠くなるのは母として論外と言わざるを得ないです。 人数やバランスで学区を決める案自体が子育てを本気で考えているとは思えず、大人の都合で行政を運営しているようで残念です。 今回も今後も他エリアでも小学生も中学生も学区が遠くなるようなことがないような街づくりを強く望みます。 増え続ける人口に頭を抱えているかもしれませんが、納得のいく解決策になるよう期待しております。 どうぞ宜しくお願いいたします。	ありがとうございます。 御心配をおかけして大変申し訳ございません。 通学距離が長くないことも考慮し、教育委員会としてはD案を推奨しています。 貴重な御意見ありがとうございました。	おおたかの森小中学校は建築雑誌にも載る素晴らしい建物で街の価値を高めています。この地を選んだ理由の一つです。 市野谷小学校も同じくらい価値ある建物にしていきたいです。 ここで言う価値とは教育方針等の精神論ではありません。 I N A の計画図を拝見しましたが、どこにでもあるただの学校なのが非常に残念です。おおたかの森学校でも市野谷学校でもどちらでも良いと感じられるような素敵な建物になることを望みます。	貴重な御意見ありがとうございます。（仮称）市野谷小学校もより一層魅力ある学校になるようにしていくことが重要だと考えます。

(仮称)市野谷小（29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
7	メール	D	以下の点から、D案が最も優れた案だと思います。 ・新設小学校の普通教室27学級、おおたかの森小学校の約半数の児童数を想定した設備と規模であることを考慮すると、A～C案は、開校から僅か3年で、キャパシティーを超えていること。 ・おおたかの森地区の開発はほぼ終えており、今後児童数が大幅増えることは考えにくく、一方、市野谷地区は未開発地区が多いことから、開発による児童数の増加も見込まれ、新設小学校には、教室に十分な空きが必要であること。	御回答ありがとうございました。		
8	メール	D	案AとBは何卒やめていただきたいです。おおたかの森小に通うより（仮）市野谷小に通う方が遠くなる上に、将来的におおたかの森小より大規模校になるというのは、良いところなしです。 案Cは南2丁目に住んでいる者としては、隣近所三方の学校が違うというのは中々住みにくいところがあるので、やはり案Dが一番良いと感じます。	御回答ありがとうございました。		
9	メール	C	私は現在、6歳（年長）の娘と1歳の息子を持つ父です。 4つの案の中で、C案（流山おおたかの森小へ通学）を希望します。 C案の理由 ①通学時間が短く、子供の身体への負担を削減できるため（おおたかの森小：大人で徒歩11分、市野谷小：徒歩15分） ②幼稚園の友達があり、子供の不安を少なくできるため（おおたかの森小学区にいますが、市野谷小学区にはいない） ③おおたかの森小→おおたかの森中の進路を希望するため（流山おおたかの森中の施設・教育内容を重視して移住した） ④D案は生徒数が多すぎ、教育（学業・部活）の質が低下するため ⑤住民からすると、南2丁目が分断されても全く困らないため	御回答ありがとうございました。 今後通学区域審議会で議論していきます。		
10	メール	A,D	駅前のマンション開発が盛んに行われていますが、例えばマンション1室にすべて子供3人を抱える家庭が入居したと想定した場合、想定児童数にかなり差があるA案もD案も対応は可能なのでしょうか。 対応可能性の是非が市民側に伝わらないため、学区案の要望の回答は致しかねます。 また、現状、今後の小学校新設の検討等の意見があるなしも関係してくると考えており、例えば市野谷の南側の土地を利用し小学校を新設することを素案でもあった場合には検討材料となるかと思います。 そういった情報を市民に開示した上で再検討の場を与えるべきかと思えます。	御回答ありがとうございます。 児童数推計をもとに算出しておりますが、各家庭によりお子様の人数は様々ですので、あくまでも未整備地の増加見込みをもとに児童数を出しております。お示しのとおり、A案では今後対応できなくなる可能性が高いため、その可能性がより低いD案を推奨しています。 現在のところ、令和7年度以降に新設小学校の建設の予定はありません。	・流山市の児童統計の見込みが甘いように思う。もう少しワーストケースで想定した場合の数と、実際の予想とを比較した数値を出し、市民に理解を得るような努力をして頂きたい。 ・駅前に多くのマンションが継続的に建設されているが、今後も近々に学区変更が起こると児童を含め各家庭に大きな混乱を生じさせることにつながるため、極力このような事態は避けていただきたい。勿論、中学校の学区も同様である。 ・東門のある通りは交通量が多く、車の速度も速い。しかしながら現在は歩道は片道であり、もう片側は白線のみとなっている。白線側から東門に通ずる道が通学路となった場合、危険が伴うことは自明であり、白線側を完全な歩道とすること、且つ東門の前には横断歩道の設置を必ず行って頂きたい。	御心配・御迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。 教育委員会としても、通学区域の変更が極力ないようにしていきたいと考えております。 通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。 貴重な御意見ありがとうございました。
11	メール		現在海外に住んでおり、2024年に上記住所へ戻る予定です。 上記住宅は持ち家で賃貸ではありません。 市HPの仮称市野谷小学校学区区域案を拝見いたしました。我が家は調度「許可区域」の線直下にあります。 おおたかの森小・中学校学区区域である事を理由に住宅を購入している為 新設小学校（南部中学）では困ります。 2021年現在で、小学校3年生1名・4年生1名です。 帰国後も従来通り、おおたかの森小学校・中学校へ通えるよう柔軟に対応いただきたくお願い致します	御心配をおかけして大変申し訳ございません。 中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。 今後通学区域審議会で議論していきます。	大群小学校学区区設定の際も、不動産契約書を提出の上柔軟に対応いただいたと聞いております 必要であれば提出可能ですので、ご検討お願い致します	貴重な御意見ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論していきます。
12	メール	D	字で学区を分けられ、各学校の学級数のバランスもいいことから、D案がいいと思います。	御回答ありがとうございました。		

(仮称)市野谷小（29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
13	メール		パークホームズ流山セントラルパーク在住です。 新設小学校へは約1キロ、現在の八木南小学校は1.5キロの距離です。 当マンションは未就学児も多く、現在の長距離通学に安全面で不安を感じています。新設小学校へは見通しの良い道で、距離も短縮されます。街区での調整は難しいことと存じますが、現在の学区案に比較的大規模なマンションである当マンションのニーズについてもご検討、ご再考をお願い致したくお願い申し上げます。	御回答ありがとうございます。現在のところ、八木南小学校の通学区域を一部変更することは検討しておりません。その理由として、今回の新設校建設の趣旨は、おおたかの森小学校の児童数が増加したことによるものだからです。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。	学区の調整は地域のニーズを勘案し、難しい問題かと存じます。学区の境目にて有利・不利が無いように、柔軟な選択も可能としていただけますと幸甚に存じます。	貴重な御意見ありがとうございました。
14	メール	D	バランスを考えると非常に難しいですね。 せっかく小学校を新設するのでから、おおたかの森小では、できていない少人数の細かい先生と生徒のつながりが保てると期待し通学区域はD案が良いと考えます。	御回答ありがとうございました。	そもそも、試算が甘い！！新設を繰り返して学びはないのか不安しか、感じられない。小中一貫校だ????????? 転校させられるのに一貫校を全面に出しているのが気分が悪い！ 新設小学校に転校＝中学校に入学してからのケアも同じように考えてるのか？ これで我が家の学区が、南部中に変更されたら、怒りしかありません。子どもの心は大人が思う以上に繊細です。と、前回のおおぐろ小開校の時に学ばれていると信じます。厳しい意見が多いのは今後に期待を持っているからです。子ども達の生活を守る考えるからこそ、厳しく意見を申し上げます。何卒よろしくお願い申し上げます。	御心配、御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。おおたかの森小・中学校は小中併設校であります。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。 貴重な御意見ありがとうございました。
15	メール	D	通学区域に後平井エリアの追加をお願いしたい。 通学区域案に関して教育委員会の方針の通り「D」案に賛成だが、対応する住所が少なすぎる。おおたかの森小学校への通学距離も勘案されているようであるが、一方で八木南小学校区域については検討されていないように見受けられる。また、当方の居住エリアは近年大規模マンションの建築をはじめ子育て世帯の増加が見受けられ八木南小学校区域となると距離や夜間の照明の少なさからも不安である。	御回答ありがとうございます。現在のところ、八木南小学校の通学区域を一部変更することは検討しておりません。その理由として、今回の新設校建設は、おおたかの森小学校の児童数が増加したことを趣旨とするものだからです。		
16	メール		●前平井、後平井も通学区域に加えて頂けないでしょうか？ 当方、前平井(八木南小の学区)に住んでおりますが、今回の案からは外れており、非常に残念に感じております。距離的に八木南小より新設小の方が近いように思います。(他の住民の方からも「八木南小は本当に遠い」、「新設小学校の方が近いのになぜ学区外なんだ」と不満や残念だという意見も多数聞きました。) ここ数年は、おおたかの森地区だけではなく、前平井、後平井という運動公園地区におきましても、若いファミリー層が急速に増えてきています。元々何も無かったところに、マンションや家が建ち、たくさんの人達が移住してきております。運動公園地区の新規住民達の意見もぜひ聞いて下さい。何卒宜しく願い致します。	御回答ありがとうございます。現在のところ、八木南小学校の通学区域を一部変更することは検討しておりません。その理由として、今回の新設校建設は、おおたかの森小学校の児童数が増加したことを趣旨とするものだからです。	●新設小学校建設にあたり、前平井、後平井の住民にも意見を聞いてほしい。アンケートの実施等もお願いしたい。 ●今回のアンケートについて、受付けていることが分かりづらかったので、もっと色々な方の目に留まるよう工夫してほしい。(受付期間ももう少し長くして頂きたかったです)	御回答ありがとうございます。今回のアンケートはおおたかの森小学校の保護者及び通学区域にお住まいの方へ周知いたしました。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

(仮称)市野谷小 (29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2)

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
17	メール	C	C案を強く推奨したいと思います。 生徒数のバランスがよく、児童の通学距離もほぼ問題がない。 問題視されている2丁目間で学区が分断される件は、大きな道路を挟んででの2丁目間のため大きな問題とはならないのでは？ A案では小道（高架）を挟んで西2丁目と南3丁目が分断され、すぐ目の前の友人と別々の学校に通うこととなり、南3丁目は目の前に学校があるのに大通りを横断して遠い学校に通うのは如何かと思う。	御回答ありがとうございます。今後通学区区域審議会で議論していきます。	八木北小学校、小山小学校、おおぐろの森小学校など学区編成でも色々ご苦労されたかと思います。十分な議論がなされ保護者・児童が納得できる結果となるよう期待しております。	お気遣いいただきありがとうございます。今後通学区区域審議会で議論していきます。
18	メール		『新設小学校とおおたかの森小中学校の間に住居をかまえる住民は、おおたかの森中学校もしくは南部中学校の選択が可能になるようにしていただきたい。』 3年前に、この地に住居を構えたのは、子供を「おおたかの森小中学校」に通わせたいと考えたからです。 新設される小学校も魅力的ではあると思いますが、新設される小学校に通うことで 中学校が「南部中学校」に自動的に決まってしまうのではないかということを懸念しております。 どうか、「おおたかの森小中学校」に通わせることを配慮頂きたい。 ・小学校の学区は明確にしていいただき、「新設小学校」か「おおたかの森小学校」を選択できるようにしていただきました。 今度は、中学校の学区を明確にしていいただいた上で、選択できるよう配慮願います。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	『今後も住宅が増えることを考慮すると、また、見直しなど発生しそうなため、現在の住民へ書面にて確約いただきたい。』	御回答ありがとうございます。御心配をおかけして大変申し訳ございません。再度の見直し等ができるだけ発生しないよう、慎重に通学区域を決定していく必要があると考えております。
19	メール		現在、おおたかの森小学校1年生とおおたかの森中1年生に子供が通っております。 流山には、上の子が、小学校1年に上がるタイミングで引越して参りました。おおたかの森小学校区である事を確認し、高くても仕方ないと家を購入しました。しかし、これから出来る小学校への移動となっており、選択制の区域にも入っておりません。新しい学校をおおたかの森中学校を移動させる、事を考えなかったのでしょうか？ 今現在、上の子はおおたかの森中学に通っております。 下の子は、兄と同じスポーツをしている為、今、試合がなくても、部活で着用する物を下の子が、おおたかの森中学にあがっても使えるように、とコロナで使う機会がほとんどなくても購入しております。 ですが、選択も出来ず、新設の小学校、その後、南部中になるのでしょうか？納得がいきません。 せめて、上の子がおおたかの森中学に通う子には、選択出来るようにしていただきたいです。小学校は、新しい学校に行ったとしても(それも下の子は望んでいません。)、中学は、おおたかの森中学校に戻していただきたいです。 開発開発で、将来の見通しが甘かった結果ですよね？ せめて、初めのおおたかの森小学校、中学校区域でした、大字三輪野山の所までを選択出来るようにして頂きたいです。宜しくお願い致します。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。		

(仮称)市野谷小 (29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2)

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
20	メール		D案を希望します。加えて、現在の在校生(1〜3年生)は「学校の自由選択の権利」を与えて頂くことを、強く望みます。 理由：新設の市野谷小学校は、おおたかの森小学校と極めて近く、「転校する利点は何もない」からです。加えて、6年間の在学中に、2回もの「転校」あるいは「お友達の転校」の可能性を子供たちに与えることは、断じて許せません。「母になるなら流山」と言っ大体的に宣伝した結果、予想以上の人口増加となってしまったのだと思いますが、そのような「流山市の無計画」が原因で、「子供たちに転校を強制」しないでください。よって、市野谷小学校の建設が決まった時点で、おおたかの森小学校に通っていた子供たちは全員（許可区域だけでなく）、「自由に学校を選ぶことが可能」として頂くことを「強く」望みます。 現状：流山市に魅力を感じて、我が子の小学校入学前にこの地に引っ越してきました。人見知りな我が子が、引っ越し先の小学校で、お友達もいない中、うまく過ごせるかと不安に思っていたところに、コロナ禍の混乱も加わってしまい、入学当初から、大変心配していました。それでもなんとか小学校に馴染み、クラスにもお友達が出来ましたが、そのお友達は、2年生になる時に、おおぐろの森小学校に転校してしまいました。その後に知った、この「市野谷小学校の開校」です。非常にショックを受けました。我が子は、市野谷小学校の開校時に5年生です。おおぐろの森小学校の例と同じであれば、6年生は、転校を免除されるのだと思います。その例と同じであれば、我が子は5年生なので、転校の対象です。入学前に、おおぐろの森小学校の開校は知っていたので、転校が無いように、おおたかの森小学校に近いところに家を決めました。それなのに、こんなに近くに市野谷小学校が出来ることになり、今回、転校の可能性が出てきたことに、憤りすら覚えています。「母になるなら流山」と宣伝していますが、6年間の間に2回も学区変更（転校の可能性）があると知ったら、誰が、流山に来るでしょうか。多くの人が来ないと思います。仮に、おおたかの森小学校にプレハブを建てることになったとしても、学校の自由選択制は認めて欲しいです。	御回答ありがとうございます。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございます。		
21	メール		玄関を出てすぐ横を見ると学校のグラウンドが見えます。 今は信号を渡らずに登校出来ており、子供の足でも5分掛からずに登校出来ております。 市野谷小学校に通う事になると横断歩道も渡り、わざわざ横目で近くの学校を目にしなが、毎日遠い学校に登校する事になります。 今の通学路案にメリットが感じられません。 下に弟もおりますので、もう一度、こちらの区域(大字三輪野山816-2)の通学路をおおたかの森小学校に通えるように検討して下さい。 宜しくお願い致します。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。今後通学区域審議会で議論していきます。		
22	メール		この新設小学校の計画がでる前に、流山市へ住み始めました。 その場合、希望すればおおたかの森小学校へ通えるのでしょうか？ （学区案にある許可区域ではありません） 通学路を下見し、安全に通学できると判断し、土地を購入しました。 新設小学校への通学路は歩道も無く、交通量も多く、絶対に通らせたくない道です。 また、おおたかの森小学校へ通うことを考え、親同士のコミュニティに参加してきました。保育園入園以来、築上げてきました。 それを、市の児童増加の見通しの甘さで台無しにされるのは納得がいきません。 転入時、おおたかの森小学校の学区だった世帯は、どちらの小学校へ通うか選べるよう、希望いたします。 ご検討のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。	御回答ありがとうございます。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。また、許可区域以外の許可要件については、今後通学区域審議会で議論していきます。	個別に流山市へeメールをしています。小田桐議員の案である、おおたかの森中学校を新設し、おおたかの森小中学校は小学校のみで運営するという意見がとても素晴らしいと思います。 今からでも変更できないのでしょうか？	御回答ありがとうございます。流山市としては市野谷地区に新設小学校を建設することを決定しております。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

(仮称)市野谷小（29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
23	メール	D	ご提示いただきました案のうち、下記理由でD案に賛成します。 ①将来的な児童増加への対応：D案の市野谷小学校エリアにおける未整備地の開発が進んだ場合、市野谷小学校が許容オーバーとなり、再度通学区域の変更やさらなる小学校新設といったことも危惧される。 ②児童の通学距離：小学校における通学距離は文科省通達等※1により4 km以内とされているが、学校の統廃合等により距離が延び、地域住民等に対して通学上著しい困難を招かぬように指導している。また、別報告書※2では、既存小学校へ通学しているの児童の通学距離変更および通学区域の変更は、児童生徒の心身の健康や安全、教育活動に及ぼすとされている。ついては、既存小学校へ通学している児童の通学距離が延びることは避けるべきと考える。	御回答ありがとうございました。	※文部省初等中等教育局長・文部省管理局长通達 「公立小・中学校の統合について」昭和48年9月27日 ※「小中学生の生活、健康・体力、学習に通学手段・時間が及ぼす影響－発達段階別比較－」東京学芸大学 令和2年3月10日	御回答ありがとうございます。
24	メール		各案の許可区域に住む、令和5年度以降小学生になる子を持つ者です。 2018年9月に住宅を購入する際は（仮）市野谷小建設の話は聞いていなかったのですが、このような議論がなされること自体が心外です。 当許可区域内には同様の状況の方も多いと思いますので、せめて本年3月までに住宅購入の契約をした又は入居した方には、指定学校変更が確実に許可されるよう（つまりおおたかの森小学校を希望する場合確実に選べるよう）担保いただきたく存じます。	御回答ありがとうございます。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。許可要件については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	私の家についてはおおたかの森小・中学校から30mほどなので、これで子供が市野谷小学校に行くことになったら全国レベルの珍事です。流山市の行政が批判されないよう、どうかご対応お願いいたします。	御回答ありがとうございます。許可区域内であれば、おおたかの森小学校へ通学することができます。
25	メール		現在のおおたかの森小学校から変更になる学区にありますが、甚だ納得のできるものではありません。 Q：市の能動的な政策による該当地域の人口流入、増加は視野に入れ義務教育期間の設置設定をすべきところ怠った結果と言わざるを得ません。人口流入は自然発生ではなく、市の施策による所が多くその点、どうお考えかを聞かせ願いたい Q：今回の学区変更に伴うメリット、デメリットに生徒個人の感情が一切配慮されていない、記述が無い点が理解しがたいものがあります。 小学校という多感な時期に転校をする、友人と別れることがどれ程に本人の負担になるかを軽んじていると受け取れます。お考えをお聞かせください。 Q：通学路について現状でも交通量に対し歩道がほばないエリアがあるなど新設校への通学に不安を覚えます。昨今のニュースでもあるような適切な歩道の設置がなされていないことからの悲劇的な結果がある状況下でなぜこのような判断ができるのか理解できません。お考えをお聞かせください。 Q：アンケートに氏名住所などを記載させるのはなぜでしょうか？意見を今回の学区設定該当者のみに求めると認識しましたが、一方、自身の子供を預ける際に「意見を言ったら子供本人にデメリットがあるのでは？」と考える親御さんも多いはずですが、そのような留意はなかったのでしょうか？極力意見を集めない為と思われても仕方のないことかと思います。お考えをお聞かせください、 Q：個人情報法令を遵守とありますが、具体的な手法をお教えてください。	御子様方に辛い思いをさせるしまうことで御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。 ・児童推計値をもとに判断しておりますが、この度教室数が足りなくなること、新設校を建設することとなり、御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。 ・学区変更となり、転校することになった場合は、A案～D案のどの案においても、子どもたちの精神的負担は発生してしまうことは認識しております。 ・通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。 ・アンケートに氏名や住所は任意でお書きいただいております。該当者は今回の学区変更にお住いの方にしましたが、その他の住所の方からの御意見へも回答しております。 ・住所や氏名等は公表せずに、アンケート結果を公表します。	人口流入が増え、街の活性化は良きことですが、一方、市政の稚拙にて最も守られるべき子供の安全と精神的な安定が妨げられることについてまずは正式に非を認め、経緯説明をし、対策を市民に合意を得てから実施すべきではないでしょうか？	御迷惑、御心配をおかけして大変申し訳ございません。 通学区域の設定については、丁寧に議論を重ね、慎重に検討していく必要があると考えております。
26	メール		後平井周辺の地域は八木南小学校の学区に指定されておりますが、この地域が（仮称）市野谷小学校の学区候補に挙がってないのはなぜでしょうか。八木南小学校も、令和9年には児童数1300人を超える予想になっており飽和状態になる可能性が有ります。 後平井地域は、特に市野谷小学校に近いため、市野谷小学校の学区も選択できるよう、ご検討お願いします。	御回答ありがとうございます。今回は、おおたかの森小学校の児童数が増加し、教室数が足りないことによる通学区域の変更のため、八木南小学校の通学区域に変更はありません。今後八木南小学校が教室数が足りなくなった場合には、増設や通学区域の変更などで対応する可能性があります。		

(仮称)市野谷小（29件：FAX2,メール24,郵送1,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
27	郵送	D	・おおたかの森小学校までの距離を考慮した「許可区域」の設定およびその範囲は賛成です。 ・通学区域（学区境）も「案D」が妥当だと考えます。 ・市野谷小学校に通学する子どもたちは、中学校はどこに通学することになるのか。現時点の考え方をお聞きしたいと考えます。	御回答ありがとうございます。 中学校の通学区域に関しては、現在のところ、変更の予定はありませんので、（仮称）市野谷小学校の卒業生はおおたかの森中学校に入学することになります。	・通学路の安全対策について、市野谷小学校の開校を待つことなく、早期に充実をはかる必要がある。おおたかの森小学校周辺は交通量が増大しており、カーブミラーの設置がない箇所を中心に以前より危険度がはるかに高まっている。取り返しのつかない事故が発生する前に対策をお願いしたい（交差点等への「とまれ」マークの付与だけでは不十分。運転する側として、カーブミラーはより多く設置すべきと考える）。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。
28	持参	D	私は、おおたかの森地区の将来は、現在の新松戸のようになるのではないかと想像しています。新松戸の良い点は、小学校？の廃校後、跡地は住宅地にして体育館だけ残して市民が引き続き利用できるようにしたことです。市民の要望があったのでそうしたのだそうです。市野谷小学校も廃校になる可能性があると思います。そうなった時に他の施設として再利用できるようにするか、最初から解体しやすいように設計するか、考えていただきたいです。体育館は、廃校になっても市民が利用できるような、耐久性のあるものにしていただけると良いと思います。 現在、市民プールが老朽化しているので、市野谷小学校のプールを廃校後、市民プールにするのも良いかもしれません。	御提案ありがとうございます。施設の将来利用については、その時点の社会情勢を勘案して検討します。		
29	持参		おおたかの森小学校の学区にはいっていたので、市野谷小学校に移るようにしてほしい。三輪野山4丁目は北小の学区ではなくしてほしい。 交通量の多い道路を渡って、時間をかけて、通学するのは心配です。	御回答ありがとうございます。現在、三輪野山4丁目はおおたかの森小学校への許可区域となっております。		

南流山小 1 年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1		---		---	
2	E	区分けはEが良いと思いますが、学区は逆が良いです。南流山7丁目の奥から第二小への通学は、直線距離では近いかもしれませんが、通学路を考えると今より遠くなるためです。	木地区には未整備地が残っており、今後児童数、学級数が増加することを考慮し、E案のような通学区域としております。通学距離が長くなって申し訳ございません。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	特にありません。	御回答ありがとうございます。
3		---		---	
4	D E	児童数、学級数のバランスを見てもE案、D案が良いと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。	参観で教室を見たさいにとても狭く感じられたので、児童数のバランスをとってもっとゆとりのあるクラス運営を行っていただけたらと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。1クラスの人数は国の基準で決まっております。
5	E	E	御回答ありがとうございます。	ただ、5.6年生は、アルバム等の関係から、分けないほうがいいのか？と、思いました。	御回答ありがとうございます。卒業アルバムについては、子どもたちの思い出が消えてなくならないよう、新設校で写真等を共有しながら作成していくことが考えられます。しかし、学年による許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。
6		---		通学区域を分けるのではなく、学年で校舎が違うというのは不可なのでしょうか？（1、2、6年生が現南流小の校舎、3、4、5年生が現南流中の校舎など）	学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。
7		---		中学が東洋学園へ移る案に反対です。遠すぎて子供を通わせるのに心配です。できれば小学校を新たに作る案に戻してくれませんか。おそらくそれを見込んで引っ越してきてる家庭が多いと思います。再検討よろしくお願いします。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。
8		通学区域B案において、R9年度以降の南流山小学校の学級数増加を考慮して、木65-70(ウェリス地区)も第二小学校の区域に含めるなど検討してほしいと思います。(ウェリス地区の児童数は今後も増加する傾向かと思うので。)また流山街道を起点に区域を分けた際の児童数、学級数の増減が把握できる資料等があれば拝見したいです。	おっしゃる通り、B案にして、木65－70を第二小にするという案や、街道で分けると児童数のバランスも良いと考えますが、学区外に学校があるということが生じます。今後、通学区域審議会で議論します。	---	
9	E	Eが適切	御回答ありがとうございます。	---	
10		---		---	
11		---		区域より、中学校の運用を早く決めてほしい。東洋学園大学まで通うなんて、事故をおこせっの	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。
12	E	Eの区域で問題ないです。	御回答ありがとうございます。	特になし	御回答ありがとうございます。
13	D	D	御回答ありがとうございます。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
14		---		在校生は卒業するまで南流山小で過ごすということとはできないんでしょうか。ようやく学校生活にも慣れたのに、仲良くなったお友だちと学校が別々になってしまいかわいそうだと感じます。もし難しいようであれば、将来を見据えて2年生以降のクラス替えは、174組が南流山小学区の児童、578組が南流山第二小学区の児童というように配慮してもらいたいです。小学校は中学や高校と違い、6年間で仲が深められていくものだと思うので、よろしくお願いします。	全ての在校生を卒業するまで南流山小学校に残すことは、児童数・学級数を考慮すると難しいです。クラス替えについては、通学区域が決定後に各学校が学校運営上検討の余地があると考えます。大変ご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。
15		特になし	御回答ありがとうございます	特になし	御回答ありがとうございます。
16	B C D	E案では通学路の赤コースの中で第一、第二に学区が分かれてしまい、混乱してしまう。BCD案のどれかの方が学区が分かりやすくて良い。また南流山7丁目から現在の中学校への距離が最も遠い。少なくとも現在の小学校の方にすべき。	2つの小学校が近隣にあるため、どこを通学区域境としても、同じルートを通して別の学校に通う児童がでてきてしまいます。御迷惑をおかけして申し訳ございません。 通学距離について 通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	希望校に割り振られず不満をもつ家庭も出てくる。学区の境目など一定条件を満たす家庭については、小学校を選択できるようにしてほしい。	学区の境目などを許可区域等にすることで、許可区域と許可区域外との境目で、同じような不満が出ることが想定されるため、許可区域を設定するとしても、慎重に議論していく必要があると考えられます。貴重な御意見ありがとうございます。
17	D	D案が良いです	御回答ありがとうございます。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	木地区の未整備土地が開発された場合でも対応可能であり、子供らの友達と離れず通うことができるなため	貴重な御意見ありがとうございます。

南流山小 1 年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
18	D	D案を希望します。神明堀に沿った区切りで分かりやすい。E案は区切りが細かいので分かりにくい。	貴重な御意見ありがとうございます。E案は区画整理地区の境と神明堀に沿った区切りとなります。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
19	C	学校との距離で分けるのが最も簡潔でわかりやすく通う子供に負担が少なく、合理的です。そのためC案が良いと思います。教室が増えること自体は、物理的に増やすことが出来るなら問題はないと思います。	概ね4 8 学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられます。そのため、物理的に教室を増やすことができたとしても、概ね4 8 学級を超えないようにしたいと考えております。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	学年で分けるのは難しいのでしょうか？変化が負担になる低学年をそのまま南流山小にし、高学年から第二に移るという形であれば、敷地の広い一つの学校という立て付けで問題ないかと思いました。	御回答ありがとうございます。学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。
20	E	E案希望。木の住所で二つに分かれるとあるが、特に気にならない。今後ますます木地区は住居が立つ見込みあり。それなのにスタート時点から明らかに人数の差があるような構成の区切りにしてしまうとこの先学級数等に大きな差が出てしまう。また、ウェリス地区など明らかに子供が多いエリアの子供をあえて第二にクロスして行かせることで、子供たちが朝通学路ですれ違うことが多く、現実的ではない。そもそもこのエリアの住居を買った背景として小学校と中学校が隣接していたことが大きなメリットなわけであり、遽方に中学を移設ということ自体を考え直すべきだし、バスを出すなど検討するべきである。	E案については、教育委員会も同様に考えております。また、中学校の移転でご迷惑をおかけしてしまい、大変申し訳ございませんでした。貴重な御意見ありがとうございます。	---	
21	B C	B案かC案を希望します。自宅から近い側の小学校に通わせたいと思います。よろしく願い致します。	概ね4 8 学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられるため、委員会としては、将来的にも4 8 学級を超えないようにしたいと考えております。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
22	E	「案E」は記載の通り、児童数や学級数のバランスがとれていると思いますので、賛成します。	御回答ありがとうございます。	(1)次年度以降は毎年クラス替えが行われると伺っています。南流小・南流第二小の学区内（例：現1年生でいうと1〜4組は南流小学区児童、5〜8組は南流第二小学区児童というような）でクラス替えをして頂くなど、将来学校が別々になってもお友達関係がスムーズにいくような配慮をいただけると有難いです。(2)PTA役員（本部等）の着任履歴については、学校が別になっても引き継いで頂きたいです。	クラス替えについて 全ての在校生を卒業するまで南流山小学校に残すことは、児童数・学級数を考慮すると難しいです。クラス替えについては、通学区域が決定後に各学校が学校運営上検討の余地があると考えます。貴重な御意見ありがとうございます。 PTAについて （仮称）南流山第二小学校にPTAが設置されるかどうか自体、決定していません。また、PTAの運用については、教育委員会からはお答えすることができません。
23		東西、南北などで分けるなど分かりやすく分けてほしい。	おっしゃる通り分かりやすい学区がいいと考えております。概ね4 8 学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられます。東西で分けるC案やD案、南北で分けるA-1案やA-2案とすると、4 8 学級を超えてしまうため、教育委員会としてはE案を推奨しています。	南流山小学校でせっかく仲良くなったお友達と別々の小学校になるかもしれないと子供が精神的にすごく不安定になる可能性が考えられる。令和6年度以降で学区を分けるなど、最善策をもっと練って欲しい。	仲の良い友達と学校が分かれてしまうということは、子どもたちにとって非常に辛いことであることは認識しています。学校が違えども、仲の良い友達が将来もお友達でいられるよう、お別れ会を行ったり、近隣校であることから様々な交流を図ったりすることが考えられます。どの年度で通学区域を分けたとしても、同じようなことが想定されます。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。
24		---		---	
25		通学ルートが同じお友達が多いので、離れてしまうのは子どもの精神状態が不安です。赤コースは一緒にの学区にして欲しいです。	仲の良い友達と学校が分かれてしまうということは、子どもたちにとって非常に辛いことであることは認識しています。2つの小学校が近隣であるため、どこを通学区域境としても、同じルートを通って別の学校に通う児童がでてきてしまいます。学校が違えども、仲の良い友達が将来も友達でいられるよう、お別れ会を行ったり、近隣校であることから様々な交流を図ったりすることが考えられます。御迷惑をおかけして申し訳ございません。許可区域等について、今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
26		南流山7丁目から通学しています。今でもクラスで一番家が遠く、第二小学校になるとさらに通学時間が長くなります。子供の負担を考えた区割りにしていただきたいです。	通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は2 0 0 m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	---	
27	B C	Bか Cが、分かりやすいと思う。Aは絶対ない。	御回答ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	

南流山小1年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
28		A-2案、E案だと南流山7丁目近辺から通学している子供達は現在より長い距離の通学となり、特に低学年の時は体力的に辛くなってしまうと思います。(実際現在でも荷物の多い日や夏場に体力的に辛くて泣きそうになりながら下校してきたという話を聞いた事があります。)また、学区分けのデメリットの中に南流山地区と木地区が混在するという内容がありましたが、実際に通学する子供達にとってはそこは大きな問題ではないと思います。子供達の通学負担が増えない区分けをお願いしたいです。	通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。通学区域を設定する上で、地域コミュニティにも配慮しております。貴重な御意見ありがとうございます。	生徒数のバランスや今後の児童数の増加などもあるかと思いますが、子供達の通学負担も考慮して学区域の検討をお願いします。	御回答ありがとうございます。今後の児童数の増加見込みという観点とともに、通学距離も考慮しておりますが、再度通学区域審議会で検討していきます。
29		特になし	御回答ありがとうございました。	特になし	御回答ありがとうございました。
30	D	D案も良いなと思いました。南流山第二小学校がどのくらいの規模かにもよると思うのですが…。	貴重な御意見ありがとうございます。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
31		特になし	御回答ありがとうございました。	6年生について、どちらの小学校に通うか希望が出せるようにする、または2校が合同でイベントを実施する機会を作るなどのご配慮をいただければと思います。	学年による指定学校変更許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。また、近隣校であることから、様々な交流を図ることが考えられます。 貴重な御意見ありがとうございました。
32		---		---	
33	E	3年後、6年後の数値であればE案で良いと思うが、10年後、15年後はどう考えているか？今回の中学移転及び第二小学校の開校については、人口推計が外れた結果であり、今回の推計値自体の信憑性に疑義が残るため、また教室数が足りなくなり学区変更等がおきるのではという不安が残る。	現在のところ、児童生徒数推計は令和9年度までしか算出することができません。今後の増加見込みについては、未整備地の残面積と年齢別児童出現率をもとに算出しております。木地区に未整備地が残っており、教室数に余裕をもたせるため、E案を推奨しています。	・E案では、第二小学校の方が教室数が少なくなるが、校庭の広さは第二小の方が広くなる。第一小は校庭面積が比較的狭く、子供たちの将来の運動能力に悪影響が起きないか不安に感じる。例えば、第一小と第二小の校庭に歩道橋を作るなどして、お互いの校庭を共有するなどできないか？ ・現在の173年生は学校が分断されることになる。子供たちのメンタルはどのように考えているか？また対策はどのように考えているか？ 友達と別れることで、不登校や、最悪の場合は自殺ということにもなりかねない。今までこの規模の話はあまり聞いたことがなくしっかりリサーチして、対策を練る必要があると思う。	貴重な御意見ありがとうございました。おっしゃるとおり、屋外運動場面積は、南流山小学校よりも、（仮称）南流山第二小学校の方が広いことは事実です。しかし、他の市立小学校も含めて、児童の増加等により、全く同じ条件で教育環境を整えることが難しい現状もあります。今後とも、子どもたちの精神的なケアのため、対策を講じていく必要があると考えております。
34	E	第三小学校の将来新設がない限り、E案以外はない	御回答ありがとうございました。	---	
35	E	資料を希望します	御回答ありがとうございました。	---	
36	E	E	御回答ありがとうございました。	---	
37		なし	御回答ありがとうございました。	なし	御回答ありがとうございました。
38	E	案E良いと思います。	御回答ありがとうございました。	人数が多い分先生達への負担があると思いますがどうか生徒達のことを第一にお願いいたします。	おっしゃるとおり、子どもたちへの負担が最小限で済むように検討していきます。
39	A-2	A-2案は学区面積もきれいに分かれており、現段階南流山小が49教室ある事から令和9年時の教室を増やす事なく、第二小学校の増設も手を加える事ないのであれば良い案だと思います。	概ね48学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられます。A-2は、字で区分けすることで、分かりやすい学区ですが、令和9年度は49学級となり、木地区の児童数の増加見込まれているため、さらに学級数が増加することが想定されます。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
40		---		木地区に空いている区画があるなら何故そこに学校を作ろうとしなかったのかがそもそもの疑問である。中学校が遠のくことにより児童や家庭の負担が増えることの方が懸念されるべきである。スクールバスの準備など進められているのかそちらもきちんとした回答がほしい。先に解決すべき問題を後回しにしてはいけない。都会の市立学校でこの通学範囲の遠さはおかしすぎる。	南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。スクールバスについては、他の同じような距離の学校でも導入していないため、検討しておりません。御迷惑をおかけして申し訳ございません。
41		---		---	
42		流山街道でわける案はないのでしょうか？特に大型マンション、ウェリスとアクアがあるので、わける案がないのかなと思いました。E案については、一部離れている木エリアの子供達が気になります。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。一部離れている木地区については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えております。	小学校建設、突然の中学校移転など、住宅購入時になかった事が起こっています。子供達にとって良い方法を考えていただきたいです。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。今後、御子様方にとって良い方法を、今後通学区域審議会等で検討していきます。
43		---		仕方ない事ですですが、友達と別れてしまうのは可哀想だと思います。中学校もかなり遠いため、負担が増えてしまいます。	友達と別れてしまうということは、御子様方にとって非常に辛いことであると認識しています。また、中学校への通学距離が長くなってしまうご家庭へも御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

南流山小 1 年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
44	A-1	A-1	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	南流山区域から、大勢の生徒が自転車を含め通学するのは危険です。通学バスの導入を希望します。そもそも第二小案には反対ですので南流山にも中学校の新設を希望します。おたかばかり学校が建ったり開発が進み、南流山駅は変わらず、同じ市内に住む身として不公平感が募ります。目の前の中学校に通えないのに、なぜこの土地に家を買ったのか、悲しくなります。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。今後、子どもたちにとって良い方法を、今後通学区域審議会等で検討していきます。
45		---		現在1年、3年生に子どもがいます。どの通学区域になるかにかかわらず現在ともに学校生活をしているので、学年共通の行事（遠足、修学旅行など）は分けずに開催してほしいと思います。卒業式は全員集まって行ってほしいです。学校生活の途中で分割を経験した学年は授業だけを別校舎で受け、その他行事は可能な限り集まって行うイメージです。令和6年度以降は完全に分けてしまってもよいと思います。	2つの学校に分けた上で、全ての授業や学校行事を合同で行うということは、学校運営上難しいところかと考えますが、近隣校であることから様々な交流が図られることが考えられます。
46	E	E案で良いと思います。	御回答ありがとうございました。	数年後に、また通学区域の変更がある(学校や周りの友達、先生がガラッと変わる)となると子どもにも負担のため、両校のバランスやキャパシティを考慮して決定頂きたいです。	おっしゃるとおり、両校のバランスやキャパシティを考慮しておりますが、令和6年度以降のことも考慮しております。
47	B C	学区の面積よりも、人数のバランスや現在通っている子達の通学時間を考慮する意味でも、BまたはCが妥当だと思う。	おっしゃるとおり、人数のバランスは考慮しておりますが、令和9年以降も児童の増加見込みがあるため、将来的な人数のバランスを考慮し、E案を推奨しています。 通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	交友関係や先生との相性なども考慮して、特別な事情のある児童手当は地区で割り振られた学校ではなく、もう片方の学校を選択できる様にするといいと思う。	特別な事情にもよりますが、現状どおり、特別な事情のある児童は指定学校の申立をすることができます。
48		---		学区をふたつに分けるのではなく、学区はそのまま学年で分けるのはいかがでしょうか。たとえば6年生に1年生のお世話をしてもらうなら同じ場所にしたりと、中学校のほうが教室数が少ないのであれば2つくらいの学年は中学校で、残りの4学年は小学校でなどと。もちろんその年によりクラス数も違うと思うので臨機応変に対応するようにすればよいですし、幸い小学校と中学校の立地場所が近いということも検討してみるのはいかがでしょうか。	御回答ありがとうございます。学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。

南流山小2年生（43件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1	E	Eを希望します。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございます。	特にありません	
2		A2とEの案は、7丁目の線路付近の方が遠い気がします。	通学時間が長くなることについて、御心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	第二小学校でも、旗振りの方がいた方がいいと思います。	御回答ありがとうございます。子どもたちやその保護者にとって、旗振りの方がいた方が安心して登校できると認識しております。見守り活動は、その地域の方々を中心とした御厚意により成り立っているものです。貴重な御意見ありがとうございました。
3	E	E案が総合的に考えると一番妥当かと思います。	御回答ありがとうございました。	一方的に決めるのではなく、きちんと皆様のご意見を踏まえて判断されることを期待しております。	貴重な御意見ありがとうございました。皆様の意見を踏まえ、今後通学区域審議会で議論してまいります。
4		第二に移動する子ども達の、友達と別れるストレスと新しい環境に対するストレスの負担は大きいと感じる。さらに、いきなりE案の学区にしてもすぐに第二の改築工場などが始まるのであれば、いつまでも落ち着かない環境負担を、この一部の学年の一部の学区の子ども達に負わせるのは、平等な教育環境とは思えない。学区編成を数年単位で、B案からE案へ移行していくなど、地域に不公平感を感じさせないような、柔軟な対応を考えていただきたい。また、高学年は、残り少ない小学校生活を卒業に向けて団結していく大事な時期でもあるので、移動しない選択肢も考えてほしい。子どもの意見だが、アルバムなどの入学からの思い出がきちんと新しい環境でも引き継がれないなら、思い出がなくなるなら、移動したくないとの事。教育環境は、あくまでも大人目線の事情だけでなく、子ども達が一番大切にしたいことは、友達と、友達と過ごした時間思い出である。子どもの立場に寄り添って、そこを奪わないような柔軟な学区移動を考えていただきたい。	御回答ありがとうございます。友達と別れてしまうということは、子どもたちにとって非常に辛いことであることは認識しています。学校が違えども、近隣校であることから様々な交流を図ることができると考えております。また、卒業アルバムなどの思い出も両校で共有し、大切な思い出がなくならないような配慮はできると考えます。学区編成を数年単位で移行していくなど、貴重な御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
5	E	通学区域ですがよりメリットの多いEの案が良いかと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
6	E	E案で賛成です。	御回答ありがとうございました。	どの通学区域に決まっても、通学路の安全は確保して下さい。子供達が安心して通える通学路をお願いします。	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。
7	D	D案が良いと思います。今後の児童数のバランスを考えて頂きたいです。木と南流山地区で分けるのはメリットを感じません。地区名はこだわなくても良いと思いました。宜しくお願い致します。	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
8		低学年と高学年に分けることは出来ないのでしょうか？	御回答ありがとうございました。学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。	特になし	御回答ありがとうございました。
9		---		兄弟で学校が別れるようなことは無いようにしてほしい。	貴重な御意見ありがとうございました。現在、市内の他の小中学校でも、保護者の負担を考慮し、兄弟姉妹は同じ学校に通うことができるように配慮しているところです。今回の新設校でも同様に考えております。
10		---		---	
11		A案の場合、通学路を工夫しないと、2つの学校の間の堀の橋が混雑すると思います。	貴重な御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
12		今後木地区の世帯増加を鑑みて	御回答ありがとうございました。	---	
13		今後木地区の世帯増加を鑑みて、数年後に人数の偏りがないように学区区域を制定していただきたいです。	御回答ありがとうございます。	---	
14		---		---	
15		---		---	
16	A-1	この中ではA1の案に賛成です。	御回答ありがとうございました。	皆さん入った学校から卒業したいのではないのでしょうか。新入学生から調節したら良いのでは。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。児童数推計では、令和6年度時点において、全校で58学級となり、在校生を全員残すことは考えにくいものがあります。また、新設小学校の在籍が新1年生だけとなると、子どもたちの活動が制限されてしまい、理想的な学校運営ができなくなることが予想されます。貴重な御意見ありがとうございました。

南流山小2年生（43件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
17		---		学区ではなく学年毎という案はないのでしょうか？子供達のストレスにならないよう対策をお願いします。	御回答ありがとうございます。学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。
18		今通っている方からわざわざ変わるのは子どもの負担になると思う。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、学区が変更になることは、お子様にとって大変な負担になることは認識しております。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。	一度親にもアンケートとして在校生にどちらが通いやすいかアンケートをとるべきではないか	学校を転校するということは、お子様や保護者にとって大変負担になるということを教育委員会としても認識していることから、現在の学校に留まりたいという御意見が多数を占めると予想しております。全ての方のご希望に添えないことになるため、御意見のある方には本アンケートで御回答をいただいているところです。御回答ありがとうございます。
19		人数バランスが良く、この通学区が一番良いことが分かりました。	御理解いただきありがとうございます。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	南流山第二小学校の校庭には遊具がありません。何か遊具に変わるものなど、ぜひ、設置を検討して欲しい。また、学校内の作りとして、中学生が使っていたものと小学生が使うものはサイズ感の違うものもあると思います。ぜひ、精査していただき、小学生が楽しく通える学校になるよう、ご配慮いただきたいと思います。	おっしゃるとおり、中学校を小学校として使用するにあたり、遊具や教室、備品等、小学校仕様にしていく必要があると認識しております。貴重な御意見ありがとうございます。
20		色々な意見があると思うが、一番重要な「児童数をバランスよく分け、どちらの学校でも教室が十分に確保できること」だけに焦点を絞って決めるべきだと思う。	貴重な御意見ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論してまいります。	現時点でも、南流山小の1クラスの人数は多すぎると思う。体の小さい低学年でもぎゅうぎゅうで、これからどんどん体が大きくなっていくと、圧迫感すらあると思う。	御回答ありがとうございます。小学校の1クラスの人数は、国によって基準が定められており、令和3年度時点では、小学1～2年生が35人、3～6年生は40人となっておりますので、その範囲内で運用しております。
21	E	Eに賛成です。	御回答ありがとうございます。	---	
22	A-2	A-2	御回答ありがとうございます。	---	
23		特になし	御回答ありがとうございます。	特になし	
24	D	通学区域案はD案がいいです。人口が増える予定である木地区を、増築が可能である第二小学校への通学が望ましいと思います。また現在、南流山7丁目は学区の中でも遠くに位置していて、E案の場合さらに通学に時間がかかるようになってしまいます。またE案では両小学校の通学路が重なる部分ができ、危険なのではないでしょうか。	御回答ありがとうございます。教室数は現時点で南流山小学校49教室、（仮称）南流山第二小学校27教室と、流山小学校の方が大幅に教室数が多いため、E案を推奨しています。通学時間が長くなることについて、御心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	通学区域の分け方によって、両小学校の通学路が重なる部分が出てくると人数も多くなり、大変危険だと思います(特に木交差点)。人数増加のことだけに限らず、通学路の安全性なども配慮して頂いて、通学区域を決めて頂ければ幸いです。	御回答ありがとうございます。両小学校が近隣にあることから、現在使用している通学路とほぼ同じになる児童が多くいることが予想されます。今後通学区域審議会で議論してまいります。貴重な御意見ありがとうございます。
25		小学校と中学校の間の中島文具店の交差点は、車や自転車の通りも多く、危険なため、あの交差点を跨がなくてすむような区分けにしてほしい。	貴重な御意見ありがとうございます。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。	中学校を東洋大学に移設することに反対。通学に徒歩で教室まで40、50もかかる通学を1000人近くいるこの二つの小学校区画の子供たちにさせるのは、無駄が多い。通学路も危険で整備されていないし、道が狭くて難しい。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。
26		木地区在住です。E案が有力とのことだが、それだと児童の範囲が狭く、友達が広がっていかない。流山街道で区切るのはどうだろうか。南流山地区の子との交流はあってほしい。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。しかし、2つの学校が近隣校であることから、様々な交流が図られることが考えられます。	---	
27		なし	御回答ありがとうございます。	なし	御回答ありがとうございます。
28		木の交差点を利用するかどうか。旗振り当番の負担があるため。	貴重な御意見ありがとうございます。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。	---	
29	E	E	御回答ありがとうございます。	---	
30		---		木地区なので第二小学校に通学することになるが、出来ることなら現在の小学校で卒業まで過ごさせてあげたいという想いがある。長く過ごし思い出が詰まった環境、仲の良い友達と別れなければならないのは寂しくないだろうか。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。おっしゃるとおり、卒業まで現在の小学校で過ごさせてあげたい気持ちはお察しします。仲の良い友達と別れてしまうことは子どもたちにとって非常に辛いことであることも認識しております。学校が違えども、仲の良い友達が将来もお友達でいられるよう、お別れ会を行ったり、近隣校であることから様々な交流を図ったりすることが考えられます。貴重な御意見ありがとうございます。

南流山小2年生（43件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
31		保護者側からの意見では個人的な理由が大半となると思います。運営・教育環境・過去事例などから最適と考えられる案を提示して、説明頂ければと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。	なし。	御回答ありがとうございました。
32	A-2	A2が良い。A2は住所の観点から混乱なく学区を分けられるが、Eは学区分けが分かりにくい。Eのメリットとして、第二小学校は改築できるとあるが、南流山小学校は何故改築が無理なのか理由が明示されておらず納得できない。まだ数年の猶予があるのだから、改築を第二小学校に限らず幅広くに検討すべきである。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、A-2案は南北で通学区域が分かれており、わかりやすいと認識しております。しかし、A-2案の方がE案よりも南流山小学区の方に木地区が多く含まれており、南流山小学区の児童数の増加が見込まれます。また、南流山小学校は、既に過去に増築済みで、増築するための用地が足りません。一方で（仮称）南流山第二小学校は教室としての改築をすることで教室数を確保できるほか、増築の用地もあるため、E案を推奨しています。貴重な御意見ありがとうございます。	そもそも本件は、流山市の計画策定の稚拙さが原因ではないのか。宅地販売を増やせば、保育園を増やせば、数年後に小学生・中学生の数が増えるのは明らかであり、小学校や中学校の新規開校を計画的に進めるべきだった。しかし本件の経緯からはそれを感じられない。市として、市の施策によって移住してきた市民への影響・しわ寄せを最小限にする責任がある。流山市に対して、アンケートの既成事実だけ作り、地域住民の意見を無視することをしないことを強く求める。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。本アンケートの御意見を、今後通学区域審議会で議論してまいります。貴重な御意見ありがとうございました。
33		---		---	
34		---		---	
35	A-1 D	A-1 またはD案でいいと思います。E案は1番あり得ないと思いますが、どおして教育委員会さんはこれを推すのでしょうか？これでE案に決定したら、移転のアンケートに続きたアンケートの意味がないアンケート募集になります。	御回答ありがとうございます。E案を推奨する主な理由としては、今後の児童数の増加見込み、児童数のバランス、両校の教室数です。	いつになったら正式な中学移転説明会がありますか？？まだタウンミーティングで30分ほどしかされていないようですが、それはあまりにもです。コロナの……というならなぜタウンミーティングはできたのでしょうか？？今の時代オンライン説明会もできるはずです。その後全く意見交換もできていないのではないですか？？もう勝手に進めるのですか？？	市民参加条例に基づき、南流山中学校移転基本設計（案）に係る意見交換会を令和3年12月11日に実施いたします。
36	E	E案で問題なしです。賛成です。	御回答ありがとうございます。	クラス役員の役職履歴や体操服などは新1年生は別として引き継ぎ使用できるようにしてもらえると助かります。	御回答ありがとうございます。前の学校でのお子様の様子は新設校の教員とも共有することになります。また、ご家庭への経済的な負担がないように配慮していきます。貴重な御意見ありがとうございました。
37		---		---	
38		新規開発地区と既存住宅地区で別れる形になるのが気になります。学校によって保護者の考え方が全く違って来るのではと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論してまいります。	今更ですが、METRO跡地に小学校建設は無理でしょうか。流山小も人数が増えているとのことで、流小南小の中間地点に小学校が有れば解決できるのではないかと思います。	御回答ありがとうございます。現在児童が増えている木地区からは距離があるとともに、用地確保に時間がかかることが予想されます。貴重な御意見ありがとうございました。
39		ウェリスとアクアスイート分けないと分散されないんじゃないのか	貴重な御意見ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論してまいります。	徒歩の距離が遠くなる分け方はしないほしい	通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。貴重な御意見ありがとうございました。
40		---		---	
41		教育委員会案に賛成。	御回答ありがとうございます。	選択肢が多すぎて、判断基準が不明瞭のため、判断に困る。まず教育委員会案をA案として、問題点を解決するB, C, D, E案を示すべき。保護者、生徒視点での学級数が多いことのデメリットが明示されていないの、詳細を記載した方が良い(例えば教室が狭くなる、教師一人当たりの受け持ちが多くなって質が低下するなど)。	ご不便をおかけして申し訳ございません。学級数が多いことの最大のデメリットとは、使用できる教室数が足りないことです。そして、教室数が足りたとしても、概ね48学級を超えると、学校運営に支障が出てくると認識しております。例えば、特別教室や体育館等が自由に使えないことや、おっしゃるとおり、教員一人当たりの授業時数が多くなることなどです。貴重な御意見ありがとうございました。
42	E	E案が良いように感じる。木地区の今後の児童増加数を考えると児童数バランスが取れて良いと思う。南流山地区と木地区が混在することはある程度仕方ないことだと考える。	御回答ありがとうございます。	なし。	御回答ありがとうございました。
43	B	全体としてはB案が良いと思います	御回答ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論してまいります。	特別支援学級は設備面（トイレ、エレベーターなど）を考えると南流山小学校のままが良いと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。特別支援学級が設置されれば、それに合わせて必要な設備を整備していきます。

南流山小3年生（28件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1		---		---	
2	E	E	御回答ありがとうございました。	---	
3		異議なし	御回答ありがとうございました。	異議なし	御回答ありがとうございました。
4		---		---	
5	D	D案がバランスが良く適当と思う	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
6		特に無し	御回答ありがとうございました。	特になし	御回答ありがとうございました。
7		木交差点を使う子供達は同じ通学区域にして欲しいです。黄色い旗持ちの時、安全面も考え同じ通学区域の方がやった方が、子供達も安心すると思います。	御回答ありがとうございます。現在も、木交差点は多くの児童が使用しており、そのように通学区域を分けることは難しいものと認識しておりますが、今後通学区域審議会で議論してまいります。なお、通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。	---	
8		---		新しい学校を作るのは、お金の無駄が多すぎる。作れば数年後に廃校になるし、新しい学校作りに経費が掛かる。箱物を作りより、もっとDX（デジタルトランスフォーメーション）を勧める拠点する。国もデジタル庁が創設されるので、同じように流山市も導入する。そこにお金をかけることが大切では？流山市は子育てしやすい街と打って聞きたが、これから、デジタルで暮らしやすい街にしていけるのいいかと。トヨタ自動車が御殿場に作る街ウーブンのような拠点にして、私の新しいPRにしてはどうか？	貴重な御意見ありがとうございました。現時点において、南流山地区の子どもたちが就学するために必要な学校設備が不足する予定のため、新設校を設置することとなりました。
9		バランスのことばかり言っておられるようでとても悲しいです。一番大事なのは子どもたちの安全なのでは？具体的にどんな安全対策を講じていただけるのでしょうか？子どもを安全に通わせられるかは、それによると思います。それが提示されないと、意見を述べようがありません。現時点でも学校前の道路が「登下校時間帯の車両通行禁止（スクールゾーン）」になっていないことが気がかりです。旗振りする大人ですら危険だと感じます。親としては、これ以上通学路が伸びることは確実にリスクが増すのでやめていただきたい。これに尽きます。	通学時間が長くなり、通学中のリスクが増すことについて、ご心配をおかけして大変申し訳ございません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学路に関しては現在とほとんど同じ道路を使用することが想定されます。通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。なお、通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。	現時点でも危険だと感じる通学路があります。登下校を見守っている保護者や近隣住民のかたの方が詳しいはずです。危険個所のアンケートをとって、現行と新規の通学路両方の安全対策を早急に講じていただきたいです。また、いつもこの手のアンケートや説明が唐突な印象です。次のアンケートはいつですか？中学校移転も含めて全体スケジュールを示していただきたい。子どもの心のケアなども検討してください。子どもたちにとっては、ある日突然友人と離れ離れになるわけです。不登校などを生まない方策を必ず専門家交えて検討し、示してください。	南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学路に関しては現在とほとんど同じ道路を使用することが想定されます。通学路の安全につきましては、毎年学校から挙がってきた危険箇所を、学校を含め警察等の関係機関と合同点検を行い、必要な対策を講じています。また、緊急性がある箇所については、随時点検を行っています。新設校に関しても、開校前から合同点検を行っています。アンケートについて御迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。このアンケート結果をもとに、通学区域審議会で議論し、最終的には通学区域審議会での答申をもとに今年度末を目途に方針が決定していく予定です。南流山中学校の移転については、令和6年4月開校に向けて準備を進めています。子どもたちにとって学校が変更になることは、精神的な負担が大きいことも認識しております。貴重な御意見ありがとうございました。
10	E	Eで良いと思う。ただ、学級数の想定は、コロナの影響で出生数に変動があるのか、区画整理の宅地に何世帯くるのか、見極める必要があるはず。	今後も児童数推計を注視しながら研究していきます。貴重な御意見ありがとうございました。	---	
11	C	通学しやすいという面でC案がいいと思います。友人と帰宅という場合もこの分け方の方が、近くまで一緒に帰れて安心です。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
12	A-1 D	A-1又はDを希望	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	Eはクラス数的には良いが放課後の交友関係場所を考えるとやめてほしい	御回答ありがとうございました。
13	B	B案に賛成です。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	できれば、今の3年生は、6年生の途中で分けるのではなく、そのまま卒業させてあげて欲しいです。受験で別れる子もいるだろうから変な時期、そして最後の年に分割させるのは、可哀想です。人間を育てる教育の場です。良い采配を願います。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございました。
14	E	Eでいいと思います	御回答ありがとうございました。	---	
15		なし。	御回答ありがとうございました。	なし。	御回答ありがとうございました。
16	E	E案で問題なし	御回答ありがとうございました。	①A-1 朝小学校の前でそれぞれの方向に向かう児童がすれ違って危ない ②学校近くの神明堀は朝のみ車両通行禁止にすべき	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。
17	E	教育委員会が推しているE案で概ね良いと思う	御回答ありがとうございました。	---	

南流山小3年生（28件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
18		---		既に在学中の児童とその弟妹に関しては、決定した新たな通学区域に関わらず、希望者は南流山小学校へ継続して通学できるように配慮していただきたいです。	児童数推計では、令和6年度時点において、全校で58学級となり、在校生を全員残すことは考えにくいものがあります。また、新設小学校の在籍が新1年生だけとなると、子どもたちの活動が制限されてしまい、理想的な学校運営ができなくなることが予想されます。貴重な御意見ありがとうございました。
19	A-1	A1の案がいいと思います。今は木地区にさらに住居が立っており他のプランだといずれ偏りが大きくなるため。区切りが分かりやすい方が良いと思います。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	特になし	御回答ありがとうございました。
20	E	Eの案が一番メリットもあり、学区も分かりやすくて良いと思います。児童数もバランスが取れていて良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
21		---		現在3年生です。小学校6年の時に第2小学校が開校します。最後の年に通学区域で別々の学校にならないよう配慮願いたい。最後の修学旅行等、仲のいいお友達がいない状態で迎えるお友達もいると思います。コロナでなかなかお友達とも遊べない中、最後の修学旅行までお友達を奪わないでほしい！切実な子供の願いです。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございました。
22		現3年生の子どもの母です。新小学校で卒業学年だけ過ごすこととなります。5年間共に過ごした仲間と離れ離れになるのはかわいそうです。学年別に分けたり、学区外通学はできないのでしょうか。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	通っている子どもたちの声を聞いて欲しいです。	貴重な御意見ありがとうございました。多くの子どもたちは、卒業まで今の仲間と過ごしたい、仲間と別れるのは辛いと考えているのではないかと認識しております。その気持ちを可能な限り生かせるよう、慎重に通学区域を決めていくべきだと考えます。また、離れ離れになっても将来も仲の良い友達でいられるよう、近隣校であることから様々な形で交流を図ることができると考えております。
23		---		---	
24		なし	御回答ありがとうございました。	なし	御回答ありがとうございました。
25	B C	案Eでは学区域が混在し過ぎており子どもの混乱があると思います。学区域がシンプルなBかC案が良いと思います。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、B案やC案は通学区域がシンプルでわかりやすいというメリットがあります。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
26	D E	DかEが良いと思う。今後の学級数のバランスがよく、教室がまた足りなくなるという心配が少ない。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
27		現案に反対です。	御回答ありがとうございました。	---	
28		南流山7丁目から通っていますが今時点で通学に30分かかっているのに第2小学校になると更に40分近くかかります。木エリアの方が小学校から近いのに何故遠い南流山エリアの子が更に遠い第2小学校になるのでしょうか？木エリアを第2にするべきです。合理的な理由があるのなら教えていただきたいです。	御回答ありがとうございます。通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ございません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は200m弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えております。	---	

(仮称)南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1	メール		記載されている生徒数推計ではE案で良いと思うが、そもそもの生徒数推計が正確なのかに疑問がある。学校教育課の担当の方に問い合わせたところ、統計は外部委託しており、住民登録している子供に、開発中の場所には出現率を考慮して最終的な数値を計算しているという回答だった。 ただ、ももとの話として、人口推計が誤っていたから、今回のような事態になっており、そもそものその数値についてもう少し根拠資料を出してもらえないと、アンケートに答える側も、どうせまた足りなくなるんじゃないかという不安がある状況で答えることになる。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。児童数推計はあくまでも予想であり絶対ではないため、今後も注視しながら早期に対応ができるようにしていく必要があると認識しております。	E案では、第二小学校の方が教室数つまり生徒数も少なくなるが、校庭の広さは第二小の方が広くなる。第一小は校庭面積が比較的狭く、子供たちの将来の運動能力に悪影響が起きないか不安に感じる。現在も人数が多すぎて持久走が行えていないと聞いている。例えば第一小と第二小の校庭に歩道橋を作るなどして、お互いの校庭を共有するなどできないか？ 現在の1～3年生は同級生と学校が分断されることになる。子供たちのメンタル面はどのように考えているか？またそれに対する対策は考えているか？友達と別れることで、不登校や、最悪の場合自殺ということにもなりかねない。今までこの規模の分校の話はあまり聞いたことがなく、しっかりリサーチして専門家に聞くなどして、子供たちのケアをしていく必要があると思う。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。おっしゃるとおり、屋外運動場面積は、南流山小学校よりも、（仮称）南流山第二小学校の方が広いことは事実です。しかし、他の市立小学校も含めて、児童の増加等により、全く同じ条件で教育環境を整えることが難しい現状もあります。 学校が変わることは、子どもたちにとって精神的な負担が大きいく、精神的ケアが必要であることは認識しております。また、近隣校であることから、様々な交流が図られることが考えられます。
2	メール	B、C	通学区域はBとCを希望いたします。 木地区の方がまだ開発されていない土地も多く、直近の数年後だけでなく長い目で見て、古くからのお家や子育て世代以外にも多く住む南流山地区よりも、人口が増えていくと思います。 そこで木地区と南流山地区を別の学区に分けてしまうと、木地区の学区の小学校の方が生徒数も多くなって偏りが出てしまうと思います。 その他にも、すでに今南流山小学校に通っている子供たちは、南流山地区と木地区が混在した学区です。 在学中の途中で学校が分かれることになり、仲良くなったお友達と離れてしまったりで心の不安が心配。 ただでさえ今はコロナの影響で子供たちもストレスを抱えているし、分散登校をしたり行事も制限される等で、また新しい友達関係を一から築くのも大変な事だと思います。 小学校の6年間は人生の基盤になる貴重な大きな時期だと思うので、そのあたりも慎重にご検討頂きたいです。 自分の子も令和6年では、小学校2年生。入学してすぐに学校が2つに分かれてしまいます。 在学中の子達の心のケアのためにも、すでに入学している家庭は、学区に限らず希望する方のみどちらの学校に行くか(第二小学校か南流山小学校か)を選択できたらいいと思います。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、木地区の人口の方が伸びていくことが予想されています。令和9年度には48学級を超えてしまう可能性があるため、E案を推奨しています。 子どもたちにとって、学校が変わり精神的負担が大きいこと、精神的ケアが必要であることは認識しております。学校が違えども、仲の良い友達が将来も友達でいられるよう、近隣校であることから、様々な交流を図ることができると考えます。 御心配をおかけして大変申し訳ございません。	2つの小学校と分けずに、1～3年生を現南流山小学校の校舎4～6年生を元南流山中学校の校舎にして1つの学校とする案はダメでしょうか？どのような形でいろんなメリット、デメリットが出てくると思います。 それぞれの家庭が納得のいく学区の決定を願います。 宜しくお願いいたします。	御回答ありがとうございます。学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。
3	メール	B、C	流山街道を区切りに学区を分けての案がいいと思いました。 B案、C案、もしくは南流山6丁目も込みにしてみる。 通学路が分かりやすくなるかと思います。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。今後通学区域審議会でも議論していきます。	保育園の友達と小学校も一緒に通えることが、親として一番の望みです。	御回答ありがとうございます。お友達と同じ学校に通いたいというお気持ちはお察しします。御理解御協力をお願いいたします。
4	メール	A-1,A-2	案では収容人数の都合を優先して、近所の子供が一緒の小学校に入れない案が多かったのですが、子供たちのことを考えて、近隣の子供が同じ小学校に通えるようにして欲しいです。「案A-1」または「案A-2」を希望します。	御回答ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論していきます。	今回、自治体が一番お勧めしている案が「E案」になっていましたが、一番のお勧めであれば、「A案」として最初に提示した方が適切だと思います。	御回答ありがとうございます。貴重な御意見ありがとうございます。

(仮称)南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
5	メール	A-1,A-2	アンケートであるのにP.2「案Eを通学区域として設定したいと考えている」と都合のいい案に誘導するような書き方をしないでいただきたい。 「案E」は大きな道路でもないのにここで区切るのは違和感がある。目の前の近所の子と学校が異なるのは子ども成長、教育によくない。市の都合ではなく、子どものことを第一に考えてください。近所「案A-1」または「案A-2」で進めてもらいたい。 「案A-1」または「案A-2」で収容人数が解決できない場合は、「A地区北東部」を鰯ヶ崎小学校への収容することも検討し、解決してもらいたい。 また松戸市のように通学する学校を選択できるようにしてもらいたい（抽選になるのは仕方がない）	御心配をおかけして大変申し訳ございません。E案は、北側はA-2案と同様、南側は神明堀を境にして設定しております。今後通学区域審議会で議論していきます。	転入者が増えると困る状況なのだから転入者を減らす施策も出すべきである。言っていることややっていることがチグハグで信用ならない。 おおたかの森方面ばかり市政が優遇されているように感じる。 転入が多い南流山地域の小学校も最新の設備や先端カリキュラムなどハード、ソフト面の両面で、市内で差が出ないようにしてもらいたい。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。教育委員会としても、市内で教育面で差が出ないようにしていく必要があると考えております。 貴重な御意見ありがとうございます。
6	メール	E	学区提案Eに賛同します。児童数のバランス重視の方針がよいと思います。	御回答ありがとうございます。	通学路の確認。木交差点を使う児童数が今後も増えると思います。 歩道橋の老朽化と児童数の多さで、特に雨の日の登下校時、傘を持ちながら足を滑らせないか心配です。 ①歩道橋の補修修繕を検討ください。 ②児童数の増加に沿った、新たな登下校ルートを検討下さい。	御回答ありがとうございます。 ①歩道橋の件については、県へ報告させていただきます。 ②子どもたちの通学の安全が重要であると認識しておりますので、新設校開校に向けて安全な通学路を設定していく必要があると考えております。最終的には、各学校の学校長が決定します。
7	メール		南流山小学区について、教育委員会推しのE案は元々遠方の南流山7、8丁目の通学距離が延びてしまいます。南流山7.8丁目地区は歩道のない通学路や横断歩道など危険箇所がいくつか存在しています。そのような地区の子をより遠方へ通わせることは危険性が増します。中学校へ行くには神明堀の横断歩道も通過しなければなりません（信号もなく危険箇所）。また遠方の通学時間は低学年は4.50分かかるかもしれないということです。人数の関係で、、、ということならば、南流山7.8丁目、流山街道より西側の木地区はより近い第一小へ、ウェリス地区（マンション・戸建て）は第二小へはどうでしょうか？E案のウェリス地区を第一に、遠方の南流山7.8丁目地区が第二となると、かなりの人数が小学校前を通過しなければなりませんし、第一小に近い子が第一へ、遠方の子が遠い第二へとなると遠方の子が不憫です。住所や人数で分けるのも大切かもしれませんが、一番大切なことは子どもたちの安全な通学ではないでしょうか？これで南流山7.8丁目が第二小になったら、子供たちの安全性は二の次にされたと捉えていいのでしょうか？学校が東西に分かれているのだから、通学区もなるべく東西で分けるべきと考えます。E案また他案の区画自体を見直せないでしょうか？不公平を訴えれば皆が公平とはならないことは承知ではありますが、やはり危険な通学路を長距離歩かせることを案として勧めるのはいかがなものなのかと考えます。保護者たちは、市がほぼE案を示しているのにアンケートを取る意味と、これでE案に決定したらとりあえずアンケートは取ったってことにするのどろうと、かなりこのやり方に不信感を抱いています。もう少し通学の安全性を加味した通学区に決定してほしいです。	貴重な御意見ありがとうございます。子どもたちの通学時の安全が非常に重要であることは認識しております。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。		
8	メール	E	E案に賛成です。他県で小学校教員をしています、AやB案は、1500人以上の児童数となってしまう、運動会などの行事の実施が難しくなり、あまりに多くなると、臨時的任用教員や新任教員を指導したり、フォローできる教員が少なくなり、乱雑になると思います。そのため、新設校との教育格差もできてしまうと感じます。 児童数が増えても、しっかりとベテラン教員が指導、フォローでき、子どもたちみんなが気持ちよく過ごせる学校になることを期待します。よろしく願いいたします。	御回答ありがとうございます。		

(仮称)南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
9	メール		是非、わくわくスーパー横の歩道橋を早急に直していただきたいです。 ご担当の方、どなたか渡られた事ありますか？雨の日など傘をさした子供達が歩道橋の上で降りられず待っている光景は見ている方が怖いです。 大人でも渡るのが怖いほど老朽化している歩道橋を毎日子供達に渡れと言うのが本当に心苦しいのです。危険でしかないです。 どうか早急にご対応下さい。 よろしくお願い致します。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。歩道橋の件については、県に報告いたします。		
10	FAX	F	F案として、県道野田松戸線を学区境界とするべき。面積的にも、比較的大きなマンションの数的にも（児童数が）釣り合いそう。例外なく県道の西側は、南流山小学校へ、県道の東側地区は、（仮称）南流山第二小学校へ。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。一部離れている木地区については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えております。	南流山中学校の東洋学園大学跡地への移転について。大学と中学では、校舎の構造も違って、結局多額な改装費が掛かってきそう。原点に戻って、学区の中央部に近い所への設置も再検討願いたい。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。
11	FAX	A-1	私は、A－1を希望します。 理由として、南流山第2小学校は、もともと中学校であったため造成が必要。その点が無駄を省き、今後増える児童数へ備えることがより可能。工事等の手間や将来を考慮していずれ学校が変化することを（長期的な見通し）踏まえて。長い年月の中では、いずれはまた1つになるのではないか。A－2，B，C，D案には論外です。 E案について2点で反対。①木3丁目（将来）の児童が同じ通学路を通りながら、別の学校に通うことや将来木3丁目の児童が別の学校に通うことになる。 ②南流山2丁目から8丁目の児童が南流山第2小学校に変更される。木地区の増加で他地区の学区変更は、気の毒なこと。木の地区を第2小学校にするべきではないかということである。	御回答ありがとうございます。 A-1案ですと、令和6年の時点で改築等が必要になってきます。木3丁目については、今後通学区域審議会で議論していきます。貴重な御意見ありがとうございます。		
12	郵送	A－1	A－1案を希望します。 学区は、住所（南流山、木）で区別されるのが保護者にとっても子供にとっても納得がいくものであると思います。そして、教室の増加が可能である（E案メリットより）第二小学校をこれからの児童数増加が見込まれる木地区へ充てた方がよいかと感じました。	御回答ありがとうございます。 教育委員会としても、住所で分けることが理想的であると認識しておりますが、児童数や教室数の関係からE案を推奨しています。貴重な御意見ありがとうございます。		
13	郵送		根本的な問題の解決方法として、新設の小学校を作るのではなく南流山小学校の校舎を2つにすることにすれば、そもそも学区を分けるという問題は発生しないのではないか。例えば1～3年を現南流山小学校、4～6年を旧南流山中学校校舎に分けるなど、人数バランスが年度によって変わっても小学校が同じなら、そのバランスを変えることで適切に対応できる。 流山おおたかの森の小学校の事例のように学区の変更が招く混乱は、自治会の範囲の分断、兄弟で別の小学校に行くことになったり、近所の友達とも別の小学校になるなど、非常に大きい。	御回答ありがとうございます。 学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。また、現在も兄弟姉妹が別の学校にならないような配慮をしております。 貴重な御意見ありがとうございました。	南流山中学校の移転に関しても、自転車通学の安全性確保など、問題の解決がなされていないまま。意見は聞くが、今回のように既に解決されたかのような印象の告知を行い、事後に意見を市民に求めているようにもとれる。街づくり委員会などを活用し市民の意見を中立に見てもらえるようにすべきかもしれない。	南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。
14	持参	E	流山市教育委員会としての通学区域案Eが良いと思います。理由も納得です。	貴重な御意見ありがとうございました。	2つの隣り合った小学校にするのではなく、「低学年校舎」・「高学年校舎」としてやっていくのはいかがでしょうか。改装等もそこまで必要なく、また、学年の途中から友達と学校が分かれてしまう子どもたちの気持ちを考えると、学校が別にならずに済むと思うので。（低学年校舎（1年～4年）：南流山小学校、高学年校舎（5,6年）：第二小学校）	貴重な御意見ありがとうございました。学年で校舎が違うということとなると、学校としては1つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。2つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。

(仮称)南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答 方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
15	持参		E 案に反対します。 流山街道で分ける案を提案します。南流山7丁目は、ただでさえ遠いのに（仮）第二小までだと低学年の子は大変です。隣接しているとはいえ、門から門まで離れているし、間の道路はやオコーなどに行く車がわりと通り、危険です。南流山と木が混在していることは、今考えることではないと思います。木交差点の朝の登校時の混み具合をご存じですか？流山街道をこえて通学する子たちは7， 8 丁目のマンションに住んでいる子も多いです。それと A1と D案についても地図上でみると分かりやすいのかもしれませんが、スシローの信号（マツキヨとの）登校時渡るの禁止です。マツキヨから土手に向かったところに住んでいる生徒は、木交差点を通過して登校します。第二小は遠すぎます。木だけではなく南流山も子供（第二子、三子など）増えています。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございます。		
16	郵送		①「案 E」に設定（決定）した経緯、詳細な理由を教えてください。 ②どの案でも、途中から沢山の子供達が仲良くなったお友達と離れる事が想定されます。今後（来年以降）の学校のクラス分けは、南流小と第二小になることを踏まえて、学区を考慮して決めてほしいです。 （例： 1 ～ 4 組南流小、 5 ～ 8 組第二小等） ＊コロナ禍で子供達はとてもストレスをかかえて、学校に通っている状態です。子供達にも納得のいくご説明、又子供達の事を優先にご検討の程お願い致します。	御回答ありがとうございます。 ①について 通学区域の面積、通学距離、地域コミュニティ、児童数、教室数等をもとに、各案のメリットデメリットを考慮しました。 ②について 今後学校運営において検討の余地があると認識しております。貴重な御意見ありがとうございます。	①在校生は南流小を卒業できるようにご検討お願い致します。 ②「第二小」になった場合、「南流小」に残る事（手続き等で）は可能でしょうか。＊学校が変わる事により、不登校児童増加懸念、順応できる子供ばかりではないため。 ③PTA の履歴（令和5年まで経験している方）を第二小に引き継いでほしいです。 以上、ご検討お願い致します。	御回答ありがとうございます。 ①②について 在校生全員を卒業まで通わせることは難しいと考えております。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。もし許可要件が設定され、その許可要件に該当するお子様は手続きにより、引き続き通うことができます。 ③について PTAに関しては、教育委員会からはお答えできません。